

## 資料編 調査票及び単純集計結果



# 誰もが暮らしやすいまちづくりのための 福祉に関するアンケート

～ご協力のお願い～

皆さまの回答は、誰もが暮らしやすい、支え合うまちづくりに役立っています。

市民の皆さまには、日頃から市政発展のためにご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。

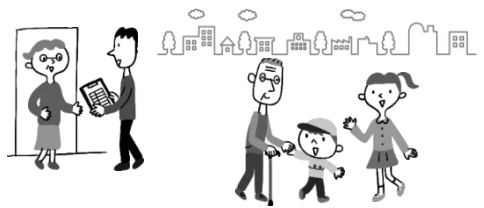
市では、子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らしやすいまちづくりを一層進めるため、来年度に「地域福祉計画」「高齢者総合計画」「障害者総合計画」をそれぞれ策定いたします。

これらの計画に市民の皆さまの意見をいかすため、18歳以上の中から2,000人を無作為抽出したところ、あなたにアンケートをお願いすることになりました。

これからの福祉は市民が主役です。

例えば、地域の活動に参加したり、誰かが困っている時に声をかけたりすることも、支え合うまちづくりのひとつです。

市民の皆さまをはじめ、地域の団体や商店、学校や企業などの皆さまと一緒に、みんなで支え合うことがとても大切になります。



このアンケートは無記名です。回答は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。また、回答を調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和4年10月 調布市長 長友貴樹

～記入についてのお願い～

【回答期限】 令和4年10月31日(月)

【回答方法】 《郵送》または《インターネット》

(※あなたが回答しやすいどちらかの方法で、投函もしくは送信してください)

《郵送》調査票による回答の方法

①封筒のあて名ご本人がお答えください。

なお、ご本人が回答することが難しい場合、ご本人の意見を聞いて、ご家族や代理の人が記入しても差し支えありません。

②回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は番号を○で囲み、( )に具体的な内容を記入してください。

③質問によっては、回答数や回答者が限られる場合があります。

④回答所要時間の目安は30分です。回答終了後、同封の返信用封筒に入れて封かんし、回答期限までにポストに投函してください。

《インターネット》回答の方法

①以下のURL, またはQRコードから専用ウェブサイトアクセスしてください。

②調査票と同じ質問が画面に表示されます。

③回答には30分程度かかります。途中保存はできませんので、お時間に余裕のある時に回答してください。

<専用ウェブサイトURL>

[https://questant.jp/q/city\\_chofu\\_fukushishimin](https://questant.jp/q/city_chofu_fukushishimin)



【調査についてのお問い合わせ先】

調布市 福祉健康部 福祉総務課

電話 042-481-7101(課直通)

Fax 042-481-7058

E-mail [fukusou@w2.city.chofu.tokyo.jp](mailto:fukusou@w2.city.chofu.tokyo.jp)

# 1 あなた(ご本人)についておたずねします

問1 性別を教えてください。(1つに○) (N=815)

1 男性	43.3%	2 女性	53.4%	3 回答しない	1.7%	無回答	1.6%
------	-------	------	-------	---------	------	-----	------

問2 年齢を教えてください。(1つに○) (令和4年10月1日現在) (N=815)

1 10歳代	1.1%	5 50歳代	20.5%
2 20歳代	5.4%	6 60歳代	16.7%
3 30歳代	14.1%	7 70歳代	14.4%
4 40歳代	16.9%	8 80歳以上	9.6%
		無回答	1.3%

問3 お住まいの地域を教えてください。(1つに○) (N=815)

1 緑ヶ丘・滝坂小学校地域	12.5%	5 第二・八雲台・国領小学校地域	13.7%
2 若葉・調和小学校地域	12.0%	6 染地・杉森・布田小学校地域	11.3%
3 上ノ原・柏野小学校地域	9.0%	7 第一・富士見台・多摩川小学校地域	14.4%
4 北ノ台・深大寺小学校地域	10.7%	8 第三・石原・飛田給小学校地域	14.7%
		無回答	1.7%

問4 市内での居住年数(市外への転居期間を除く通算年数)を教えてください。(1つに○)  
(N=815)

1 1年未満	3.2%	5 10年以上20年未満	20.5%
2 1年以上3年未満	4.9%	6 20年以上30年未満	19.4%
3 3年以上5年未満	4.8%	7 30年以上	33.5%
4 5年以上10年未満	13.1%	無回答	0.6%

問5 住居形態を教えてください。(1つに○) (N=815)

1 持ち家(一戸建て)	45.2%	5 公営住宅(市営・都営住宅等)	5.3%
2 持ち家(集合住宅)	24.9%	6 社宅・公務員住宅等	0.9%
3 民間賃貸(一戸建て)	1.0%	7 上記以外	1.2%
4 民間賃貸(集合住宅)	20.5%	無回答	1.1%

調布市民福祉ニーズ調査【市民(18歳以上)】

問6 同居している家族構成を教えてください。(1つに○)

(N=815)

1 ひとり暮らし	17.2%	6 ひとり親と子ども	
2 夫婦のみ	25.2%	(一番下の子どもが18歳未満)	0.5%
3 夫婦と親(二世世代同居)	1.7%	7 三世世代同居	3.9%
4 夫婦と子ども(二世世代同居)	38.8%	8 上記以外	7.1%
5 ひとり親と子ども		無回答	0.9%
(一番下の子どもが18歳以上)	4.8%		

問7 現在の職業を教えてください。(1つに○)

(N=815)

1 正規の社員・職員・役員	35.2%	5 学生	2.3%
2 非正規の社員・職員(嘱託・パート・ アルバイト・契約・派遣)	20.4%	6 無職	17.1%
3 自由業・自営業(家業手伝いを含む)	10.2%	7 上記以外	1.0%
4 専業主婦・主夫	12.9%	無回答	1.0%

## 2 ご近所付き合いについておたずねします

問8 ご近所付き合いは、どの程度していますか。(主なもの1つに○)  
(N=815)

1 家を行き来するなど、親しくしている	8.7%
2 立ち話をする程度	27.4%
3 あいさつをする程度	53.1%
4 ご近所付き合いをしていない	9.9%
無回答	0.9%

付問 問8で「4 ご近所付き合いをしていない」と答えた人におたずねします。ご近所付き合いをしていない理由は何ですか。(いくつでも○) (n=81)

1 仕事や学業, 家事・育児などで忙しく時間がないから	18.5%
2 引っ越してきて間もないから	2.5%
3 普段, 付き合う機会がないから	70.4%
4 同世代の人が近くにいないから	13.6%
5 気の合う人や話の合う人が近くにいないから	18.5%
6 あまり関わりをもちたくないから	29.6%
7 その他	6.2%
無回答	4.9%



**コラム** 支え合う地域づくりのために、あなたもはじめてみませんか？



ポイント1 あいさつから はじめよう  
(地域の人とつながるために)

ポイント2 見守ってみよう  
(おせっかいな気持ちで)

ポイント3 ひとりでできなくても  
(地域の人と一緒に)

出典:調布市地域福祉計画

### 3 市民同士の支え合い、地域活動についておたずねします

問9 あなたは次の事柄について、家族以外のまわりの人から手助けをしてほしいと思いますか。また、まわりの人に手助けできること(してもいいこと)はありますか。①手助けしてほしいか、②手助けできるかについて、それぞれ1つに○を付けてください。(N=815)

	①手助けしてほしいこと			②手助けできること		
	してほしい	してほしい しない	無回答	できる・ こともいい	できない・ しない	無回答
ア 安否確認の声かけ	51.0%	40.9%	8.1%	76.9%	16.4%	6.6%
イ ちょっとした買い物やごみ出し	13.6%	76.8%	9.6%	44.2%	47.9%	8.0%
ウ 食事や掃除・洗濯の手伝い	8.5%	82.1%	9.4%	16.4%	75.2%	8.3%
エ 通院の送迎や外出の手助け	15.8%	75.3%	8.8%	26.4%	65.0%	8.6%
オ 子どもの預かり	16.0%	68.8%	15.2%	22.5%	68.5%	9.1%
カ 話し相手や相談相手	28.1%	62.0%	9.9%	48.7%	43.3%	8.0%
キ 災害時避難の手助け	70.2%	22.5%	7.4%	76.9%	16.1%	7.0%
ク 具合がよくない時に病院などに連絡する	51.9%	40.1%	8.0%	72.1%	20.9%	7.0%

問10 家族以外のまわりの人に、問9ア～クのような手伝いや手助けをする(してもらう)に当たり、どのような取組があるとよいと思いますか。(いくつでも○) (N=815)

1 手助けしてほしい人と手助けできる人をコーディネート(紹介)する仕組み	47.4%
2 手助けしてほしい人や事柄を知ることのできる仕組み	41.7%
3 手助けできる人の人柄やスキルを知ることのできる仕組み	33.7%
4 その他	2.8%
5 取組は必要ない(できる時はする)	15.0%
6 わからない	10.4%
無回答	5.0%



調布市民福祉ニーズ調査【市民(18歳以上)】

問11 市内では多くの地域活動・ボランティア活動が行われています。①あなたは、次のような活動に取り組んでいますか、②今後、次のような活動に取り組みたいですか。(それぞれ1つに○)

(N=815)	①取組状況			②今後の取組意向			
	取り組んでいる	取り組んでいない	無回答	取り組みたい、興味がある	取り組みまない、興味がない	わからない	無回答
ア 子育て世帯・青少年を支援する活動、子ども会やPTAの活動	11.5%	82.5%	6.0%	15.1%	41.0%	35.0%	9.0%
イ 高齢者を支援する活動	3.9%	90.1%	6.0%	21.2%	30.7%	40.4%	7.7%
ウ 障害のある人を支援する活動	3.4%	90.7%	5.9%	19.8%	32.0%	40.0%	8.2%
エ お祭りや運動会などのレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動	8.6%	85.2%	6.3%	24.0%	35.2%	32.4%	8.3%
オ 交通安全や犯罪防止など、地域の安全を守る活動	6.1%	87.6%	6.3%	22.5%	31.8%	36.9%	8.8%
カ 防災訓練や災害時に救援・支援をする活動	6.1%	87.9%	6.0%	35.6%	22.2%	33.7%	8.5%
キ 地域の環境美化、環境保全・自然保護などの活動	6.6%	86.7%	6.6%	31.0%	25.5%	34.6%	8.8%
ク 自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動	10.1%	84.3%	5.6%	13.3%	38.7%	39.4%	8.7%
ケ 趣味・習いごとなどの活動	19.9%	75.2%	4.9%	38.9%	24.2%	28.2%	8.7%

問12 あなたが身近な活動拠点として利用している施設や場所はどこですか。(いくつでも○)

(N=815)

1 文化会館たづくり	19.4%	8 小学校・中学校	10.3%
2 地域福祉センター	8.1%	9 民間の施設	4.2%
3 総合福祉センター	2.6%	10 個人宅	6.5%
4 市民活動支援センター	1.5%	11 その他	5.6%
5 ふれあいの家	4.3%	12 どこも利用していない	40.1%
6 公民館	3.9%	無回答	4.7%
7 図書館	29.1%		

調布市民福祉ニーズ調査【市民(18歳以上)】

問13 どのような条件であれば、地域活動・ボランティア活動に参加・活動しやすいですか。

(いくつでも○)

(N=815)

1 子どもの世話や介護を代わってもらう	5.5%
2 活動や団体に関する情報を紹介してくれる	20.4%
3 友人・知人と一緒に参加できる	18.4%
4 時間や期間にあまりしぼられない	56.3%
5 身近なところに活動できる場がある	41.6%
6 世話人やリーダーがいる	17.7%
7 参加することでメリットがある(報酬など)	19.1%
8 活動資金の補助や援助がある	13.6%
9 その他	3.3%
10 わからない	11.2%
11 条件によらず、参加したくない	8.8%
無回答	3.3%

問14 地域活動・ボランティア活動の情報をどのような方法で探しますか。(いくつでも○)

(N=815)

1 市や社会福祉協議会の広報・ホームページ	44.0%	6 活動団体や大会・イベントのホームページ	6.6%
2 図書館・公民館などにあるポスター・チラシ	14.2%	7 SNS を活用	14.0%
3 学校や職場にあるポスター・チラシ	8.0%	8 友人・知人に聞く	15.1%
4 駅やお店にあるポスター・チラシ	13.9%	9 その他	1.5%
5 ボランティアなどの募集情報サイト	4.2%	10 わからない、関心がない	29.0%
		無回答	3.8%

※ SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) とは, Twitter, LINE, Facebook 等の登録された利用者同士が交流できる, コンピュータやスマートフォンなどを使用したインターネット上のサービス。

調布市民福祉ニーズ調査【市民(18歳以上)】

問15 あなたが地域活動・ボランティア活動に参加する場合,どのような点を重視しますか。

(いくつでも○)

(N=815)

1 気軽にできること (単発, 時間が短いなど)	65.4%	8 自分の技能・経験をいかせること	18.5%
2 長く続けられること	8.2%	9 人の役に立つこと	39.5%
3 誰にでもできること	27.9%	10 より良い社会につながる事	26.0%
4 体を動かせること	11.5%	11 その他	1.2%
5 多くの人と関わること	13.5%	12 わからない, 関心がない	15.0%
6 新しい経験や学びを得ること	23.4%	無回答	2.9%
7 自分の将来に役立つこと	9.4%		

問16 近年,さまざまな主体による地域活動が行われています。あなたが参加しやすい活動は何ですか。

(いくつでも○)

(N=815)

1 地縁を基盤とする活動(自治会・地区協議会・老人クラブ・マンション管理組合など)	18.2%
2 特定分野の法人を基盤とする活動(NPO 法人・社会福祉法人など)	12.6%
3 同じ趣味・志向をもつ人達の活動(趣味の同好会・教室・子育てサークルなど)	45.8%
4 学校などを基盤にする活動(保護者会・PTA・おやじの会など)	9.3%
5 その他	2.0%
6 わからない, 関心がない	30.8%
無回答	4.7%

## 4 暮らしのことについておたずねします

問17 新型コロナウイルス感染症の流行により、あなたの暮らしにどのような影響がありましたか(影響があった時期は問いません)。(それぞれ1つに○) (N=815)

	増えた	変化なし	減った	わからない 事柄が該当しない	無回答
ア 勉強や学習などのスキルアップに充てる時間	16.4%	51.4%	8.3%	18.2%	5.6%
イ 人と直接会って話す頻度	2.1%	21.2%	70.6%	2.7%	3.4%
ウ 人と電話やLINEなどで話す頻度	22.5%	58.2%	11.4%	3.8%	4.2%
エ 福祉サービスの利用頻度(保育, 介護, 障害等を含む)	2.3%	35.7%	6.9%	49.8%	5.3%
オ 興味や関心のあることに充てる時間	28.2%	45.5%	16.9%	5.2%	4.2%

問18 これまでに経済的に困った経験がありますか。(1つに○) (N=815)

1 現在困っている	} →付問へ	11.2%
2 現在は困っていないが、困ったことがある		17.1%
3 困ったことはない		68.3%
無回答		3.4%

付問 問18で「1~2(困っている, 困ったことがある)」と答えた人におたずねします。困っている(困った)原因は何ですか。(いくつでも○) (n=230)

1 仕事をしていない・できない	21.7%	6 支出が多い(収入はあるが、 使いすぎてしまう)	24.3%
2 収入が少ない(年金含む)	61.3%	7 ギャンブルやアルコールへの出費	4.8%
3 頼れる家族や友人がいない	10.0%	8 その他(具体的に: )	12.6%
4 病気がある・家族の介護	21.3%	無回答	1.7%
5 障害がある	6.1%		

調布市民福祉ニーズ調査【市民(18歳以上)】

問19 あなたの地域で次のような世帯を見たり、聞いたりしたことがありますか。(いくつでも○)

(N=815)

1 大量のごみが自宅や周辺に放置されている世帯(ごみ屋敷)	9.1%
2 高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯(老老介護)	11.0%
3 近隣や地域と関わりをもたない世帯(孤立世帯)	11.2%
4 自宅にひきこもっている人がいると思われる世帯(ひきこもり※1)	6.5%
5 高齢の親がひきこもり状態にある中高年の子どもの生活を 支えている世帯(8050 問題)	2.8%
6 子育てと親の介護を一人で同時に抱えている世帯(ダブルケア)	3.3%
7 未成年の子どもが家族の介護などによって、自分の時間を もてない世帯(ヤングケアラー※2)	1.1%
8 家族の間で虐待が疑われる世帯(虐待)	3.7%
9 上記以外で、深刻な課題を抱えていると思われる世帯 (具体的に: )	1.5%
10 見たり、聞いたりしたことはない	64.7%
無回答	4.8%

※1 ひきこもりとは、様々な要因の結果として社会的参加(就学、就労、家庭外での交流など)を回避し、原則的には6ヶ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態(他者と交わらない形での外出をしてもよい)

※2 ヤングケアラーとは、本来、大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを子どもが日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことをできないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子どものこと。

問20 ご近所に近隣と関わりをもたず、何らかの支援が必要と思われる世帯を発見した場合、あなたはどのように行動しますか。(1つに○) (N=815)

1 自分で様子を見に行く	2.9%	5 警察に連絡・相談する	7.0%
2 近隣の人に連絡・相談する	11.7%	6 何もしない	9.1%
3 自治会役員や民生委員・児童委員に 連絡・相談する	12.8%	7 わからない	21.3%
4 市の相談窓口や相談機関(地域包括支援 センターなど)に連絡・相談する	32.1%	無回答	3.1%

調布市民福祉ニーズ調査【市民(18歳以上)】

問21 日常生活での困りごとを相談できる人や機関はありますか。(いくつでも○) (N=815)

1 同居の家族	65.8%
2 別居の家族や親戚	56.9%
3 自治会や近所の人	9.2%
4 友人・知人	59.1%
5 民生委員・児童委員	1.6%
6 地域福祉コーディネーター※1	1.1%
7 ケアマネジャー(介護支援専門員)※2・ヘルパー(介護員)などの事業者	5.5%
8 かかりつけ医や保健師などの医療関係者	12.0%
9 市役所	12.1%
10 社会福祉協議会	1.7%
11 地域包括支援センター	5.2%
12 ちょうふ若者サポートステーション※3	0.1%
13 子ども家庭支援センターすこやか	2.2%
14 調布ライフサポート※4	0.2%
15 その他(具体的に: )	1.3%
16 身近に相談できる人や機関はない	4.8%
無回答	2.1%

※1 地域福祉コーディネーター(コミュニティソーシャルワーカー=CSW)は、生活上の悩みや困りごとを抱える人に対し、さまざまな機関・団体と連携しながら課題の解決を図るとともに、住民主体の活動の促進や地域でのネットワーク構築といった取組を進める役割を担う。

※2 ケアマネジャー(介護支援専門員)は、要介護(要支援)認定者からの介護サービスの利用に関する相談、適切な居宅サービス・施設サービスを利用するためのケアプランの作成、サービス事業者などとの連絡調整を行う専門職。

※3 ちょうふ若者サポートステーションは、15～49歳対象の職業的自立のための総合相談窓口。

※4 調布ライフサポートは、経済的な理由などで困っている人に対するトータルな相談窓口。

調布市民福祉ニーズ調査【市民(18歳以上)】

問22 現在、あなた自身やご家族は、どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えていますか。(1つに○) (N=815)

1 はい	8.1%	→付問へ	2 いいえ	89.2%	無回答	2.7%
------	------	------	-------	-------	-----	------

付問 問22で「1 はい」と答えた方におたずねします。差し支えなければ、お困りの内容をお聞かせください。(いくつでも○) (n=66)

1 自分・配偶者の健康・病気	21.2%	7 住まい	9.1%
2 自分・配偶者の学業・仕事	15.2%	8 お金(財産管理・相続含む)	39.4%
3 親の健康・病気・介護	24.2%	9 人間関係, 人との付き合い方	13.6%
4 兄弟姉妹の健康・病気・介護	10.6%	10 その他	6.1%
5 子ども・孫の学業・仕事	16.7%	無回答	3.0%
6 子ども・孫の健康・病気	10.6%		

問23 あなたは、身近な地域の中で不安や課題と感じていることはありますか。(いくつでも○) (N=815)

1 子育て, 子どもの教育のこと	14.4%	8 ご近所付き合い,	
2 健康のこと	22.9%	友だち付き合いのこと	4.9%
3 介護のこと	13.5%	9 防犯, 地域の安全のこと	14.1%
4 老後の生活のこと	32.0%	10 災害時のこと	30.1%
5 住まいや住宅のこと	14.5%	11 気軽に相談できる人(機関)が少ないこと	
6 仕事のこと	13.1%		6.1%
7 経済的なこと	19.4%	12 その他	1.1%
		13 特にない	25.6%
		無回答	6.5%

## 5 デジタルの活用についておたずねします

問24 調布市の保健福祉施策(サービス)に関する情報をどこから入手していますか。(いくつでも○)  
(N=815)

1 市のホームページ	32.0%	6 SNS	8.0%
2 市の広報紙・チラシ	61.7%	7 その他	0.5%
3 市役所・相談機関などの窓口	3.2%	8 特にない,	
4 テレビ(ケーブルテレビを含む)		情報は入手していない	20.9%
・ラジオ	4.4%	無回答	1.7%
5 家族, 友人・知人からの口コミ	12.5%		

問25 普段, スマートフォンなどの情報端末やパソコンを使っていますか。(1つに○) (N=815)

1 使っている	85.8%	2 使っていない	13.4%	無回答	0.9%
---------	-------	----------	-------	-----	------

問26 市や社会福祉協議会の講座やイベントがオンライン開催(インターネットを介して参加する方法)されたら, 参加しやすくなりますか。(1つに○) (N=815)

1 参加しやすくなる	32.1%	3 参加しづらくなる	7.0%
2 変わらない	57.7%	無回答	3.2%



## 6 市民の権利を守る取組についておたずねします

問27 市や社会福祉協議会等で行っている下記の制度や事業をご存知ですか。(それぞれ1つに○)  
(N=815)

	知っている	聞いたことはある (内容は知らない)	知らない	無回答
ア 成年後見制度	36.2%	34.4%	27.1%	2.3%
イ 法定後見制度	21.0%	32.8%	43.7%	2.6%
ウ 任意後見制度	15.3%	26.4%	55.2%	3.1%
エ 市民後見人	5.6%	17.7%	74.1%	2.6%
オ 専門職紹介制度	4.0%	13.6%	78.7%	3.7%
カ 地域福祉権利擁護事業	5.6%	12.0%	79.1%	3.2%

問28 ご自身の判断能力が低下し、財産の管理や身の回りの手続きなどに支援が必要となった場合、  
誰に支援をしてほしいですか。(2つまで○) (N=815)

1 家族・親族	86.7%	4 市民後見人	2.1%
2 友人・知人	8.3%	5 その他	1.0%
3 成年後見人(弁護士・司法書士 ・社会福祉士など)	22.9%	6 わからない	7.2%
		無回答	2.0%

## 7 誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします

問29 災害時についての不安や心配ごとはありますか。(いくつでも○)

(N=815)

1 老朽化など、お住まい(家屋)のこと	25.3%	6 同居のご家族の歩行に不安があること	
2 家具や家電の転倒対策が不十分なこと	22.7%		8.6%
3 食糧や日用品の備蓄が不十分なこと	46.6%	7 その他	7.7%
4 避難所がはっきりわからないこと	18.0%	8 特に不安や心配ごとはない	15.7%
5 ご自身の歩行に不安があること	7.5%	無回答	6.7%

問30 地域のつながりに対する考え方について、あなたはどのように思いますか。(それぞれ1つに○)

(N=815)

	とても そう思う	そう 思う	あまり 思わない	そうは 思わない	無 回答
ア ホームレスの問題は、本人だけでなく、社会全体の問題である	18.3%	49.7%	22.7%	5.8%	3.6%
イ 生活保護を受けている人に対する差別や偏見の問題は、社会全体の問題である	17.2%	49.2%	24.7%	5.0%	3.9%
ウ 障害や病気があっても自分らしく暮らすためには、地域のつながりが重要となる	24.9%	55.3%	14.6%	1.7%	3.4%
エ ひきこもりやニート※1の問題は、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる	13.1%	39.1%	34.2%	9.7%	3.8%
オ 家庭内の虐待を防ぐことは、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる	25.4%	47.6%	18.3%	4.9%	3.8%
カ DV※2 被害を防ぐことは、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる	20.2%	46.9%	23.1%	6.0%	3.8%
キ ひとり親家庭の自立を支援するためには、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる	24.9%	56.3%	12.6%	2.8%	3.3%
ク 認知症や老老介護の問題は、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる	29.9%	53.3%	11.0%	2.1%	3.7%

※1 ニートとは、若者のうち、学校や仕事に行かず、求職活動や職業訓練などをしていない人。

調布市民福祉ニーズ調査【市民(18歳以上)】

※2 DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、配偶者や恋人など親密な関係にある(またはあった)者から振られる暴力。身体的な暴力だけでなく、精神的・経済的・性的な暴力など、あらゆる暴力を含む。

問31 市内のバリアフリーについて、どのように感じていますか。(それぞれ1つに○) (N=815)

	とても充実している	充実している	あまり充実していない	充実していない	わからない	無回答
ア 車いすの人や誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす、幅を広げるなど)	1.7%	20.5%	38.9%	13.9%	21.6%	3.4%
イ 公共施設や病院などのスロープ、エレベーターやエスカレーター	3.6%	39.8%	27.5%	6.7%	19.1%	3.3%
ウ 車いすの方や乳幼児を連れた方など、誰もが使いやすいトイレ	2.3%	31.4%	31.9%	8.6%	22.0%	3.8%
エ 歩きやすいように障害物(商品や看板、放置自転車、電柱など)が取り除かれ、段差や凹凸が少なく、十分に幅のある歩道や道路	1.6%	12.1%	41.0%	28.7%	13.1%	3.4%
オ 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	2.3%	23.3%	31.8%	9.9%	29.3%	3.3%
カ 車いすやベビーカーで乗降しやすい超低床バスやリフト付バス	2.3%	21.3%	28.7%	10.2%	34.2%	3.2%
キ 障害者用の駐車場	2.2%	17.9%	23.6%	9.3%	43.8%	3.2%
ク 大きな文字・絵・複数の言語を用いた、誰もがわかりやすい案内標示	1.3%	15.1%	32.8%	14.1%	33.7%	2.9%
ケ 手話への対応や音声ガイドがある施設	1.1%	4.4%	23.9%	16.0%	51.5%	3.1%
コ 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	0.9%	3.2%	21.5%	19.9%	51.7%	2.9%
サ 公園、道路などを含む、まち全体のユニバーサルデザイン※	2.0%	11.7%	29.4%	17.1%	36.9%	2.9%
シ 高齢者、子ども連れの家族、障害や病気などがある人に対する人々の接し方や配慮	1.3%	12.3%	30.2%	15.2%	38.2%	2.8%

※ ユニバーサルデザインとは、障害の有無・年齢・性別・人種などに関わらず、多様な人が利用しやすいよう、事前に環境などをデザインすること。

調布市民福祉ニーズ調査【市民(18歳以上)】

問32 誰もが暮らしやすいまちづくりに向けて、病気・障害・国籍・生活習慣などの違いによる心理的な障壁を取り除く(心のバリアフリー)のために、特に必要な取組は何だと思いますか。(2つまで○)  
(N=815)

1 学校において、お互いを理解し、思いやる心を醸成するための教育	58.3%
2 意識啓発のための研修・講演会の開催	6.6%
3 多様な背景をもつ人々が交流する機会の増加	36.1%
4 わかりやすい、使いやすい情報の提供	52.4%
5 その他	2.3%
6 わからない	8.8%
無回答	1.8%

問33 調布市の保健福祉施策(サービス)をより充実していくために、特に重要と考える取組は何ですか。(3つまで○)  
(N=815)

1 相談体制や情報提供の充実	55.1%
2 利用者の立場や権利を保護・擁護する制度の充実	22.0%
3 子どもから高齢者までの健康や介護予防を支援する保健事業の充実	36.2%
4 在宅サービスの質と量の確保	22.6%
5 施設サービス(保育園や入所施設など)の質と量の確保	32.4%
6 ボランティア団体やNPOなどの育成・活動支援	7.5%
7 市民同士が支え合う仕組みの充実	15.3%
8 民間活力の導入による福祉サービスの確保と活性化	16.1%
9 市民・関連団体・行政の連携と協働の推進	10.9%
10 市民への福祉意識の啓発	12.1%
11 その他	1.8%
無回答	4.8%

問34 市民同士がお互いに支え合い、住み慣れたまちで誰もが安心して暮らすまちづくりの取組について、ご意見、ご提案をお聞かせください。(自由記述)

ア 地域活動, 市民同士の支え合い	
イ 相談, サービス	
ウ 安全・安心	
エ 上記以外	

アンケートは以上です。たくさんの方の質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。

調査結果は市ホームページで公表し、図書館などで閲覧できます(令和5年4月頃の予定)。

## 高齢者が暮らしやすいまちづくりのための 福祉に関するアンケート

～ご協力をお願いします～

皆さまの回答は、高齢者が暮らしやすい、支え合うまちづくりに役立っています。

市民の皆さまには、日頃から市政発展のためにご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

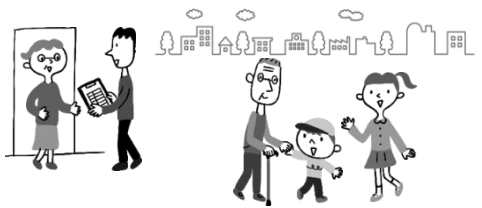
市では、子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らしやすいまちづくりを一層進めるため、来年度に「地域福祉計画」「高齢者総合計画」「障害者総合計画」をそれぞれ策定いたします。

これらの計画に市民の皆さまの意見をいかすため、65歳以上の中から2,000人を無作為抽出したところ、あなたにアンケートをお願いすることになりました。

これからの福祉は市民が主役です。

例えば、地域の活動に参加したり、誰かが困っている時に声をかけたりすることも、支え合うまちづくりのひとつです。

市民の皆さまをはじめ、地域の団体や商店、学校や企業などの皆さまと一緒に、みんなで支え合うことがとても大切になります。



このアンケートは無記名です。回答は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。また、回答を調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和4年10月 調布市長 長友貴樹

～記入についてのお願い～

【回答期限】 令和4年10月31日(月)

【回答方法】 《郵送》または《インターネット》

(※あなたが回答しやすいどちらかの方法で、投函もしくは送信してください)

《郵送》 調査票による回答の方法

①封筒のあて名ご本人がお答えください。

なお、ご本人が回答することが難しい場合、ご本人の意見を聞いて、ご家族や代理の人が記入しても差し支えありません。

②回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は番号を○で囲み、( )に具体的な内容を記入してください。

③質問によっては、回答数や回答者が限られる場合があります。

④回答所要時間の目安は30分です。回答終了後、同封の返信用封筒に入れて封かんし、回答期限までにポストに投函してください。

《インターネット》 回答の方法

①以下のURL, またはQRコードから専用ウェブサイトアクセスしてください。

②調査票と同じ質問が画面に表示されます。

③回答には 30 分程度かかります。途中保存はできませんので、お時間に余裕のある時に回答してください。

<専用ウェブサイトURL>

[https://questant.jp/q/city\\_chofu\\_korei](https://questant.jp/q/city_chofu_korei)



【調査についてのお問い合わせ先】

調布市 福祉健康部 高齢者支援室

電話 042-481-7149(課直通)

Fax 042-481-4288

E-mail [kourei@w2.city.chofu.tokyo.jp](mailto:kourei@w2.city.chofu.tokyo.jp)

# 1 あなた(ご本人)についておたずねします

問1 性別を教えてください。(1つに○) (N=1203)

1 男性 41.6%	2 女性 55.4%	3 回答しない 0.4%	無回答 2.6%
------------	------------	--------------	----------

問2 年齢を教えてください。(1つに○) (令和4年10月1日現在) (N=1203)

1 65～69歳 21.0%	3 75～79歳 20.6%	5 85歳以上 16.0%
2 70～74歳 23.2%	4 80～84歳 17.2%	無回答 1.9%

問3 お住まいの地域を教えてください。(1つに○) (N=1203)

1 緑ヶ丘・滝坂小学校地域 12.2%	6 染地・杉森・布田小学校地域 11.4%
2 若葉・調和小学校地域 11.6%	7 第一・富士見台・多摩川小学校地域 14.5%
3 上ノ原・柏野小学校地域 9.7%	8 第三・石原・飛田給小学校地域 15.1%
4 北ノ台・深大寺小学校地域 8.5%	無回答 2.4%
5 第二・八雲台・国領小学校地域 14.5%	

問4 市内での居住年数(市外への転居期間を除く通算年数)を教えてください。(1つに○)

(N=1203)

1 1年未満 0.8%	5 10年以上20年未満 11.1%
2 1年以上3年未満 2.1%	6 20年以上30年未満 14.7%
3 3年以上5年未満 3.1%	7 30年以上 62.8%
4 5年以上10年未満 4.2%	無回答 1.2%

問5 住居形態を教えてください。(1つに○)

(N=1203)

1 自宅(持ち家)で生活している 73.8%
2 自宅(賃貸)で生活している 20.9%
3 病院に入院している, 施設を利用している 1.6%
4 上記以外 2.7%
無回答 1.0%

問6 同居している家族構成を教えてください。(1つに○) (N=1203)

1 ひとり暮らし	21.7%
2 夫婦のみ(配偶者は65歳以上)	40.8%
3 夫婦のみ(配偶者は65歳未満)	3.7%
4 上記(1~3)以外で世帯全員が65歳以上	3.1%
5 上記(1~4)以外	29.4%
無回答	1.2%

問7 あなたは現在、介護を受けていますか。(いくつでも○) (N=1203)

1 家族や親族から介護を受けている	5.2%
2 介護保険制度を利用して介護を受けている	7.6%
3 その他の人から介護を受けている	0.7%
4 介護を受けていない	87.4%
無回答	1.4%

## 2 ご近所付き合いについておたずねします

問8 ご近所付き合いは、どの程度していますか。(主なもの1つに○) (N=1203)

1 家を行き来するなど、親しくしている	13.3%	4 ご近所付き合いをしていない	→付問へ
2 立ち話をする程度	40.1%		6.7%
3 あいさつをする程度	39.1%	無回答	0.8%

付問 問8で「4 近所付き合いをしていない」と答えた人におたずねします。ご近所付き合いをしていない理由は何ですか。(いくつでも○) (n=80)

1 仕事や家事などで忙しく時間がないから	13.8%
2 引っ越してきて間もないから	17.5%
3 普段、付き合う機会がないから	51.2%
4 同世代の人が近くにいないから	8.8%
5 気の合う人や話の合う人が近くにいないから	8.8%
6 あまり関わりをもちたくないから	17.5%
7 その他 (具体的に: )	16.3%
無回答	3.8%



問9 暮らしの中でご近所付き合いは必要と思いますか。(1つに○) (N=1203)

1 とても必要と思う	26.3%	4 必要ないと思う	1.2%
2 どちらかといえば、必要と思う	60.8%	無回答	2.1%
3 どちらかといえば、必要ないと思う	9.6%		

### 3 市民同士の支え合い、地域活動についておたずねします

問10 あなたは次の事柄について、家族以外のまわりの人から手助けをしてほしいと思いますか。また、まわりの人に手助けできること(してもいいこと)はありますか。①手助けしてほしいか、②手助けできるかについて、それぞれ1つに○を付けてください。 (N=1203)

	①手助けしてほしいこと			②手助けできること		
	してほしい	してほしくない	無回答	できる・いいこと	できない・しない	無回答
ア 安否確認の声かけ	41.0%	33.8%	25.2%	59.9%	19.5%	20.5%
イ ちょっとした買い物やごみ出し	14.0%	59.1%	26.8%	37.6%	39.5%	22.9%
ウ 食事や掃除・洗濯の手伝い	7.6%	65.3%	27.0%	14.3%	60.6%	25.1%
エ 通院の送迎や外出の手助け	13.3%	59.3%	27.4%	19.0%	55.5%	25.4%
オ 子どもの預かり	4.0%	55.4%	40.6%	13.1%	60.7%	26.3%
カ 話し相手や相談相手	23.9%	47.2%	28.8%	40.4%	37.3%	22.3%
キ 災害時避難の手助け	56.9%	21.4%	21.6%	51.1%	26.6%	22.3%
ク 具合がよくない時に病院などに連絡する	40.1%	34.2%	25.7%	52.9%	24.2%	22.9%

調布市民福祉ニーズ調査【高齢者(65歳以上)】

問11 この1年で、家族以外のまわりの人に、問10ア～クのような手伝いや手助けをしましたか。  
また、手伝いや手助けをしてもらいましたか。(それぞれ1つに○) (N=1203)

①手伝いや手助けをしたか	1 した	13.3%
	2 しなかった(そういう場面はあった)	3.6%
	3 そういう場面がなかった	78.0%
	無回答	5.2%
②手伝いや手助けをもらったか	1 してもらった	10.6%
	2 してもらわなかった(してほしいことはあった)	5.6%
	3 してほしいことがなかった	78.4%
	無回答	5.5%

問12 家族以外のまわりの人に、問10ア～クのような手伝いや手助けをする(してもらう)にあたり、どのような取組があるとよいと思いますか。(いくつでも○) (N=1203)

1 手助けしてほしい人と手助けできる人をコーディネート(紹介)する仕組み	33.0%
2 手助けしてほしい人や事柄を知ることのできる仕組み	30.3%
3 手助けできる人の人柄やスキルを知ることのできる仕組み	23.4%
4 その他(具体的に: )	1.3%
5 取組は必要ない(できる時はする)	15.7%
6 わからない	23.6%
無回答	8.8%

## 調布市民福祉ニーズ調査【高齢者(65歳以上)】

問13 市内では多くの地域活動・ボランティア活動が行われています。①あなたは、次のような活動に取り組んでいますか、②今後、次のような活動に取り組みたいですか。(それぞれ1つに○)

(N=1203)

	①取組状況			②今後の取組意向			
	取り組んでいる	取り組んでいない	無回答	取り組みたい、興味がある	取り組みたくない、興味がない	わからない	無回答
ア 子育て世帯・青少年を支援する活動	2.4%	79.9%	17.7%	9.2%	23.9%	45.5%	21.4%
イ 高齢者を支援する活動	3.6%	79.2%	17.2%	14.5%	20.6%	43.7%	21.2%
ウ 障害のある人を支援する活動	2.6%	80.0%	17.4%	11.1%	21.2%	46.1%	21.5%
エ お祭りや運動会などのレクリエーション活動, 地域の伝統や文化を伝える活動	6.7%	76.8%	16.5%	14.9%	26.1%	38.2%	20.8%
オ 交通安全や犯罪防止など, 地域の安全を守る活動	3.1%	79.6%	17.4%	17.5%	20.1%	40.4%	21.9%
カ 防災訓練や災害時に救援・支援をする活動	4.7%	77.8%	17.5%	23.2%	17.4%	37.6%	21.9%
キ 地域の環境美化, 環境保全・自然保護などの活動	6.3%	76.4%	17.3%	24.4%	16.9%	36.9%	21.8%
ク 自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動	14.0%	70.3%	15.7%	16.0%	24.3%	38.7%	21.1%
ケ 趣味・習いごとなどの活動	22.4%	63.0%	14.6%	32.3%	17.6%	30.2%	19.9%

調布市民福祉ニーズ調査【高齢者(65歳以上)】

問14 どのような条件であれば、地域活動・ボランティア活動に参加・活動しやすいですか。

(いくつでも○)

(N=1203)

1 子どもの世話や介護を代わってもらう	1.4%	8 活動資金の補助や援助がある	6.0%
2 活動や団体に関する情報を紹介してくれる	18.4%	9 その他(具体的に: )	3.0%
3 友人・知人と一緒に参加できる	16.8%	10 わからない	19.3%
4 時間や期間にあまりしぼられない	44.4%	11 条件によらず、参加したくない	10.6%
5 身近なところに活動できる場がある	37.1%	無回答	10.4%
6 世話人やリーダーがいる	17.0%		
7 参加することでメリットがある(報酬など)	6.0%		

問15 地域活動・ボランティア活動の情報をどのような方法で探しますか。(いくつでも○)

(N=1203)

1 市や社会福祉協議会の広報・ホームページ	45.5%
2 図書館・公民館などにあるポスター・チラシ	13.5%
3 学校や職場にあるポスター・チラシ	1.3%
4 駅・お店にあるポスター・チラシ	8.6%
5 ボランティアなどの募集情報サイト	5.7%
6 活動団体や大会・イベントのホームページ	5.2%
7 SNS※を活用	3.5%
8 友人・知人に聞く	16.0%
9 その他(具体的に: )	2.3%
10 わからない、関心がない	27.0%
無回答	11.5%

※SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)とは、登録された利用者同士が交流できる、コンピュータやスマートフォンなどを使用したインターネット上のサービス(例:ライン・ツイッター・フェイスブックなど)。

## 4 就労についておたずねします

問16 現在の職業を教えてください。(1つに○)

(N=1203)

1 正規の社員・職員・役員	} →付問へ	5.2%
2 非正規の社員・職員(嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣)		13.5%
3 自由業・自営業(家業手伝いを含む)		7.6%
4 シルバー人材センター・有償ボランティア		2.5%
5 仕事はしていない		68.0%
無回答		3.2%

付問 問16で「1~3(会社などで働いている)」と答えた人におたずねします。現在の職業に就いている経緯を教えてください。(いくつでも○) (n=316)

1 継続雇用	41.8%
2 再就職(ハローワーク, 友人・知人, 民間(情報誌・登録など))	26.3%
3 独立して開業	13.6%
4 その他(具体的に: )	6.0%
無回答	14.2%

問17 あなたが仕事をする(したいと思う)主な理由は何ですか。(いくつでも○) (N=1203)

1 生活費をまかなうため	24.0%	7 地域に貢献したいから	4.7%
2 健康によいから	23.9%	8 その他(具体的に: )	1.6%
3 働くことに生きがいを感じるから	17.0%	9 働くつもりはない	27.5%
4 社会参画の手段として	13.8%	無回答	24.0%
5 時間に余裕があるから	12.1%		
6 技術や経験をいかしたいから	11.8%		

問18 高齢者が就労する(続ける)ために特に必要なことは何ですか。(3つまで○) (N=1203)

1 健康・体力	72.9%	7 人脈・知り合い	7.4%
2 専門知識・技能	16.7%	8 定年前からの準備	4.3%
3 協調性・真摯な態度	22.9%	9 その他(具体的に: )	0.3%
4 意欲・情熱	24.8%	10 わからない	6.7%
5 高齢者にあった職場・就労環境	35.7%	無回答	15.7%
6 仕事に合わせる柔軟性	18.3%		

## 5 災害時の対策についておたずねします

問19 災害や火災などの緊急時に一人で避難することができますか。(1つに○) (N=1203)

1 一人で判断し、避難できる	75.7%
2 一人で判断できるが、避難はできない	12.2%
3 一人では判断できないし、避難もできない	8.8%
無回答	3.2%

問20 災害や火災などの緊急時に避難を助けてくれる人がいますか。(いくつでも○) (N=1203)

1 家族	71.3%
2 近所の友人・知人	23.2%
3 自治会・民生委員などの地域の支援者	7.9%
4 その他(具体的に: )	2.1%
5 避難を助けてくれるような人はいない	14.6%
無回答	3.5%

問21 防災マップ・洪水ハザードマップなどで避難場所・避難経路・警戒区域などを確認していますか。(1つに○) (N=1203)

1 確認している	71.8%	2 確認していない	24.3%	無回答	3.9%
----------	-------	-----------	-------	-----	------

問22 災害や火災などの緊急の際、避難情報を主にどこからとりますか。(いくつでも○) (N=1203)

1 防災行政無線	33.8%	6 SNS	11.9%
2 調布市防災・安全情報メール	36.7%	7 その他(具体的に: )	4.5%
3 調布FM	6.2%	8 わからない	18.0%
4 市ホームページ	18.2%	無回答	7.0%
5 ケーブルテレビ	13.1%		

問23 一人で避難することが難しくなった場合に備えて、避難行動要支援者名簿※に登録する意向はありますか。(1つに○) (N=1203)

1 登録したい(既に登録している)	43.1%	2 登録しない	47.2%	無回答	9.6%
-------------------	-------	---------	-------	-----	------

※ 市では、災害時の避難行動に支援が必要な高齢者や障害者など(避難行動要支援者)の名簿を作成している。名簿の対象者のうち、同意を得られた人の名簿情報については、平常時から避難支援等関係者に提供し、日頃からの交流を通じた災害に対する助け合いの体制を構築している。

## 6 健康増進, 権利擁護の取組についておたずねします

問24 「高齢者」と意識する年齢は、何歳からですか。あなたの意識にもっとも近いものをお答えください。(1つに○) (N=1203)

1 65歳以上	6.0%	3 75歳以上	33.7%	5 85歳以上	7.2%
2 70歳以上	25.4%	4 80歳以上	25.9%	無回答	1.8%

問25 あなたは、健やかに暮らすために、次のことに取り組んでいますか。(それぞれ1つに○) (N=1203)

	今, 取り組んでいる	今後は取り組む 取り組んでいないが,	今後も取り組まない 取り組んでいないし,	わからない	無回答
ア 認知症予防	28.3%	38.0%	7.1%	18.9%	7.7%
イ フレイル※予防	27.8%	31.4%	4.5%	23.4%	12.9%

※ 加齢とともに心身の活力(運動機能や認知機能など)が低下し, 複数の慢性疾患の併存などの影響もあり, 生活機能が障害され, 心身の脆弱性が出現した状態。

問26 近年, 人生のエンディングに向けて, 元気なうちからさまざまな準備をする活動が広がっています。①あなたは, 次のような事柄をご存知でしたか。②今後, 次のような事柄を活用したいと思いませんか。(それぞれ1つに○) (N=1203)

	①認知状況			②今後の活用意向				説明
	知っている	知らない	無回答	活用したい	活用しない	わからない	無回答	
ア 終活 (エンディング)ノート	72.1%	16.4%	11.6%	44.1%	11.1%	32.1%	12.8%	銀行口座などの財産や介護や医療に関する希望, 葬儀の内容など, 自分の思いや希望を家族など親族に伝えるために書き記すノートのこと。
イ ACP (アドバンス・ケア・プランニング)	20.9%	59.9%	19.1%	29.9%	8.2%	50.3%	11.6%	自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて, 前もって考え, 医療・ケアチームなどと繰り返し話し合い共有する取組のこと。

調布市民福祉ニーズ調査【高齢者(65歳以上)】

問27 認知症の人やその家族を支えるため、どのような取組に力を入れる必要があると思いますか。(いくつでも○) (N=1203)

1 市民に認知症への正しい知識と理解をもってもらうための啓発・情報提供	34.5%
2 認知症のことを相談できる窓口・体制の充実	60.3%
3 できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり	48.0%
4 家族の身体的・精神的負担を減らす取組	52.0%
5 家族の仕事と介護の両立支援を含めた、経済的負担を減らす取組	34.9%
6 認知症の人を地域で見守る体制の充実	34.6%
7 日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実	13.2%
8 悪質商法や詐欺的な勧誘による被害を防止するための取組	30.0%
9 認知症の人が利用できる介護施設の充実	56.4%
10 認知症になっても地域で役割をもって暮らし続けられる体制の整備	32.3%
11 認知症にも対応している保険の充実	20.5%
12 その他 (具体的に: )	1.0%
13 特にない	4.5%
無回答	5.8%

問28 ご自身の判断能力が低下し、財産の管理や身の回りの手続きなどに支援が必要となった場合、誰に支援をしてほしいですか。(2つまで○) (N=1203)

1 家族・親族	89.4%
2 友人・知人	4.0%
3 成年後見人(弁護士・司法書士・社会福祉士など)	14.6%
4 市民後見人	2.4%
5 その他 (具体的に: )	0.5%
6 わからない	6.1%
無回答	3.6%



## 7 暮らしのことについておたずねします

問29 新型コロナウイルス感染症の流行により、あなたの暮らしにどのような影響がありましたか  
(影響があった時期は問いません)。(それぞれ1つに○) (N=1203)

	増えた	変化なし	減った	わからない 事柄が該当しない	無回答
ア 自宅での趣味・学習・教養などに充てる時間	21.5%	50.3%	9.6%	9.2%	9.4%
イ 家族との会話や連絡の頻度(電話などを含む)	18.6%	59.9%	10.7%	2.8%	8.0%
ウ 友人・知人との会話や連絡の頻度(電話などを含む)	11.0%	40.0%	39.4%	3.0%	6.7%
エ 生活に必要な外出の頻度 (買い物・食事・医療機関の受診など)	5.7%	40.8%	45.1%	1.8%	6.7%
オ 趣味活動や社会参加の外出の頻度 (スポーツ・ボランティア・通いの場など)	2.9%	26.6%	47.9%	15.0%	7.6%
カ 体力・筋力	2.2%	39.1%	50.1%	2.6%	6.1%
キ 認知機能の低下や物忘れを自覚する・指摘される頻度	17.0%	62.8%	4.3%	9.2%	6.7%
ク 時間を持て余す頻度(何もすることがない時間)	18.0%	64.5%	4.2%	6.6%	6.7%

問30 日常生活での困りごとを相談できる人や機関はありますか。(いくつでも○) (N=1203)

1 同居の家族	64.9%	9 市役所	6.2%
2 別居の家族や親戚	58.9%	10 社会福祉協議会	2.6%
3 自治会や近所の人	7.3%	11 地域包括支援センター	8.1%
4 友人・知人	37.2%	12 ちょうふ若者サポートステーション※2	0.1%
5 民生委員・児童委員	1.7%	13 子ども家庭支援センターすこやか	0.0%
6 地域福祉コーディネーター※1	1.3%	14 調布ライフサポート※3	0.3%
7 ケアマネジャー(介護支援専門員)・ヘルパー(介護員)などの事業者	10.2%	15 その他(具体的に: )	0.5%
8 かかりつけ医や保健師などの医療関係者	17.9%	16 身近に相談できる人や機関はない	4.8%
		無回答	3.5%

※1 地域福祉コーディネーター(コミュニティソーシャルワーカー=CSW)は、生活上の悩みや困りごとを抱える人に対し、さまざまな機関・団体と連携しながら課題の解決を図るとともに、住民主体の活動の促進や地域でのネットワーク構築といった取組を進める役割を担う。

※2 ちょうふ若者サポートステーションは、15～49歳対象の職業的自立のための総合相談窓口。

※3 調布ライフサポートは、経済的な理由などで困っている人に対するトータルな相談窓口。

調布市民福祉ニーズ調査【高齢者(65歳以上)】

問31 現在、あなた自身やご家族は、どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えていますか。(1つに○) (N=1203)

1 はい 8.6% →付問へ 2 いいえ 85.5% 無回答 5.9%

付問 問31で「1 はい」と答えた人におたずねします。差し支えなければ、お困りの内容をお聞かせください。(いくつでも○) (n=103)

1 自分・配偶者の健康・病気	39.8%	8 住まい	26.2%
2 自分・配偶者の運動機能・体力の変化	25.2%	9 お金(財産管理・相続含む)	18.4%
3 自分・配偶者の認知機能の変化	20.4%	10 仕事	11.7%
4 自分・配偶者の介護	15.5%	11 人間関係, 人との付き合い方	10.7%
5 親の健康・病気・介護	6.8%	12 その他(具体的に: )	5.8%
6 兄弟姉妹の健康・病気・介護	8.7%	無回答	7.8%
7 子ども・孫の健康・病気・介助・将来	18.4%		

問32 自宅以外に一人で、あるいは友人・知人と過ごす場所がありますか。(1つに○) (N=1203)

1 ある 59.3% 2 ない 34.2% 無回答 6.5%

問33 自宅以外に一人で、あるいは友人・知人と過ごす場合、どのような場所を望みますか。(いくつでも○) (N=1203)

1 友人・知人宅	30.1%	7 商業施設(飲食店除く)	10.4%
2 文化施設(図書館・資料館など)	18.8%	8 公園・自然	38.5%
3 集会施設(公民館・自治会館 ・交流スペースなど)	15.2%	9 インターネット・SNS	6.2%
4 福祉施設	7.1%	10 その他(具体的に: )	2.7%
5 運動施設	18.6%	11 必要ない	6.1%
6 飲食店	45.6%	無回答	9.1%

## 8 誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします

問34 お住まいの地域の暮らしやすさについて、どのように感じていますか。(それぞれ1つに○)

(N=1203)

	とても満足している	満足している	あまり満足していない	満足していない	わからない	無回答
ア 隣近所などとの付き合い	3.3%	48.5%	13.5%	5.6%	20.0%	9.2%
イ 町内会・地区協議会の活動	1.1%	22.4%	12.4%	6.2%	45.7%	12.2%
ウ 地域の交流	0.9%	17.4%	13.4%	6.2%	49.1%	13.0%
エ サークルやボランティアの活動	1.5%	14.2%	10.1%	4.9%	55.9%	13.5%
オ 地域の防災・防犯対策	0.8%	21.5%	13.1%	5.8%	45.2%	13.5%
カ 相談できる体制	0.3%	15.0%	13.3%	7.4%	51.0%	13.0%
キ 買い物などの便利さ	14.1%	55.8%	11.8%	5.4%	4.3%	8.6%
ク 道路や交通機関などの使いやすさ	11.4%	54.9%	13.5%	6.1%	5.2%	9.0%
ケ 公的な手続きの便利さ	3.2%	39.5%	20.8%	7.4%	18.3%	10.9%

調布市民福祉ニーズ調査【高齢者(65歳以上)】

問35 高齢者の生活を守る取組や相談窓口などがあります。下記のことをご存知ですか。

(それぞれ1つに○)

(N=1203)

	知っている	知らない	無回答	説明
ア 見守りネットワーク(みまもっと)	35.1%	56.4%	8.6%	地域住民・協力団体などが、地域の高齢者などの異変や生活上の支障などに気付いたら、その情報を地域包括支援センターに連絡する活動。
イ 高齢者虐待防止法	23.9%	66.4%	9.7%	高齢者を虐待から守ることを目的として平成18年4月に施行されている。高齢者虐待とは、身体的暴行のほか、心理的外傷を与える言動、世話の放棄、財産の不当な処理なども含む。
ウ 調布市消費生活相談室	40.7%	49.5%	9.7%	買物相談をはじめ、悪質商法の被害など、市民の消費生活に関するさまざまなトラブルや相談に対応している。
エ 地域包括支援センター	56.0%	35.7%	8.3%	高齢者やその家族が地域で安心して暮らせるよう、福祉や介護に関するさまざまな相談ができる総合相談窓口。
オ 「くらしの案内～シルバー編～」	22.3%	68.0%	9.7%	高齢者向けに行っている各種事業を市民にお知らせするために、毎年、発行している冊子。
カ 調布ライフサポート	10.2%	79.8%	10.0%	経済的な理由などで生活にお困りの人に対するトータルな相談窓口。
キ 住まいぬくもり相談室	6.6%	82.8%	10.6%	適切な民間賃貸住宅の情報の提供や福祉サービス、行政支援などを紹介している。

問36 市内のバリアフリーについて、どのように感じていますか。(それぞれ1つに○)

(N=1203)

	とても充実している	充実している	あまり充実していない	充実していない	わからない	無回答
ア 車いすの人や誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす,幅を広げるなど)	0.8%	14.5%	33.2%	13.1%	27.5%	10.8%
イ 公共施設や病院などのスロープ,エレベーターやエスカレーター	2.0%	35.7%	22.9%	5.4%	22.9%	11.1%
ウ 車いすの方や乳幼児を連れた方など,誰もが使いやすいトイレ	1.0%	22.9%	27.4%	8.4%	29.1%	11.1%
エ 歩きやすいように障害物(商品や看板,放置自転車,電柱など)が取り除かれ,段差や凹凸が少なく,十分に幅のある歩道や道路	0.6%	8.4%	40.3%	22.9%	17.5%	10.3%
オ 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	0.7%	20.2%	24.0%	10.1%	33.6%	11.3%
カ 車いすやベビーカーで乗降しやすい超低床バスやリフト付バス	1.0%	21.5%	24.3%	9.1%	33.2%	11.0%
キ 障害者用の駐車場	0.9%	14.0%	20.1%	7.4%	46.4%	11.1%
ク 大きな文字・絵・複数の言語を用いた,誰もがわかりやすい案内標示	0.2%	10.2%	28.1%	10.6%	39.0%	12.0%
ケ 手話への対応や音声ガイドがある施設	0.1%	2.7%	19.5%	8.1%	58.2%	11.5%
コ 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	0.1%	2.0%	18.9%	11.3%	56.4%	11.3%
サ 公園・道路などを含む,まち全体のユニバーサルデザイン※	0.5%	6.8%	21.9%	12.0%	46.7%	12.1%
シ 高齢者,子ども連れの家族,障害や病気などがある人に対する人々の接し方や配慮	0.2%	8.0%	25.4%	12.6%	42.9%	11.1%

※ ユニバーサルデザインとは,障害の有無・年齢・性別・人種などに関わらず,多様な人が利用しやすいよう,事前に環境などをデザインすること。

調布市民福祉ニーズ調査【高齢者(65歳以上)】

問37 調布市の高齢者保健福祉施策(サービス)をより充実していくために、特に重要と考える取組は何ですか。(5つまで○) (N=1203)

1 趣味や生きがいづくり・社会参加への支援	32.8%
2 働く機会や場所づくり	19.7%
3 介護が必要にならないための健康づくりなどの支援	43.6%
4 自立生活のための家事(炊事・洗濯・掃除など)についての指導	7.8%
5 介護保険サービスの充実(ホームヘルプサービス・デイサービス・ショートステイなど)	39.5%
6 介護保険以外の保健福祉サービスの充実(配食サービス・紙おむつの給付など)	24.4%
7 ボランティアや地域活動の充実	8.9%
8 ひとり暮らしなどの高齢者に対する見守りや支え合うまちづくりへの支援	39.2%
9 低所得者などへの経済的支援	23.0%
10 既存住宅の改修支援	12.5%
11 安価な賃貸住宅の供給	17.0%
12 段差などがなく利用しやすい公共施設・交通機関の整備	23.3%
13 特別養護老人ホームなどの入所施設の整備	38.7%
14 利用しやすい成年後見制度	6.3%
15 介護者に対する支援	28.6%
16 その他(具体的に: )	1.0%
17 わからない	4.6%
無回答	7.1%

調布市民福祉ニーズ調査【高齢者(65歳以上)】

問38 介護者支援策として、あなたが必要だと思うことは次のどれですか。(いくつでも○)

(N=1203)

1 介護者に対する定期的な情報提供	42.5%
2 介護者が気軽に休息がとれる機会づくり	47.5%
3 リフレッシュのための日帰り旅行などの機会提供	14.8%
4 電話や訪問による相談サービス	33.2%
5 本人や介護者が集まって話せる場づくり	23.9%
6 家族会や介護者の自助グループ	8.6%
7 在宅介護者への手当	34.5%
8 介護休業取得者のいる企業への支援制度	11.6%
9 介護者が仕事を続けることができる支援制度, 再就職支援施策	35.9%
10 介護者の経験をいかした介護問題への発言の場づくり	13.1%
11 その他 (具体的に: )	0.7%
12 特にない	10.9%
無回答	9.5%

問39 市民同士がお互いに支え合い, 住み慣れたまちで誰もが暮らしやすいまちづくりの取組について, ご意見, ご提案をお聞かせください。(自由記述)

ア 地域活動, 市民同士の支え合い	
イ 相談, サービス	
ウ 安全・安心	
エ 上記以外	

アンケートは以上です。たくさんの方の質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。  
調査結果は市ホームページで公表し、図書館などで閲覧できます(令和5年4月頃の予定)。

## 障害のある人が暮らしやすいまちづくりのための 福祉に関するアンケート(18歳以上)(身体(64歳以下), 身体(65歳以上))

### ～ご協力のお願い～

皆さまの回答は、障害のある人が暮らしやすい、支え合うまちづくりに役立っています。

市民の皆さまには、日頃から市政発展のためにご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

市では、子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らしやすいまちづくりを一層進めるため、来年度に「地域福祉計画」「高齢者総合計画」「障害者総合計画」をそれぞれ策定いたします。

これらの計画に市民の皆さまの意見をいかすため、障害者手帳や特定医療費(指定難病)受給者証をおもちの方の中から1,800人を無作為抽出したところ、あなたにアンケートをお願いすることになりました。

これからの福祉は市民が主役です。

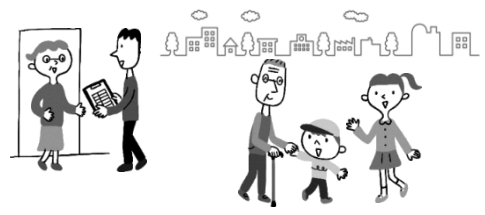
例えば、地域の活動に参加したり、誰かが困っている時に声をかけたりすることも、支え合うまちづくりのひとつです。

市民の皆さまをはじめ、地域の団体や商店、学校や企業などの皆さまと一緒に、みんなで支え合うことがとても大切になります。

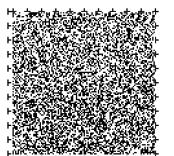
このアンケートは無記名です。回答は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。また、回答を調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和4年10月 調布市長 ながともよしき 長友貴樹



※調査票の各ページには、「音声コード(Uni-Voice)」を付しています。「音声コード」とは、1.8センチメートル角のコードを専用の読取機やスマートフォン用アプリが音声に変換し、文章内容を読み上げるものです。





～記入についてのお願い～

【回答期限】 令和4年10月31日(月)

【回答方法】 《郵送》または《インターネット》

(※どちらか一つの方法で、投函もしくは送信してください)

《郵送》調査票による回答の方法

- ①封筒のあて名ご本人がお答えください。また、ご本人が回答することが難しい場合、ご本人の意見を聞いて、ご家族や代理の人が記入しても差し支えありません。
- ②回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は番号を○で囲み、( )に具体的な内容を記入してください。
- ③質問によっては、回答数や回答者が限られる場合があります。
- ④回答しづらい、わからない場合は無理をせず、次の間に進んでください。全ての質問に回答できなくても大丈夫です。
- ⑤回答終了後、同封の返信用封筒に入れて封かんし、回答期限までにポストに投函してください。

《インターネット》回答の方法

- ①以下のURL, またはQRコードから専用ウェブサイトにアクセスしてください。
- ②調査票と同じ質問が画面に表示されます。
- ③回答には30分から1時間程度かかります。途中保存はできませんので、お時間に余裕のある時にご回答ください。

<専用ウェブサイトURL>

[https://questant.jp/q/city\\_chofu\\_fukushisgl](https://questant.jp/q/city_chofu_fukushisgl)



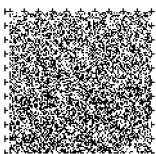
【調査についてのお問い合わせ先】

調布市 福祉健康部 障害福祉課

電話 042-481-7135・7089・7094(課直通)

Fax 042-481-4288

E-mail syougai@w2.city.chofu.tokyo.jp



調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問1 この調査に回答していただく人を教えてください。(1つに○)

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)		身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 本人	73.7%	71.7%	3 その他	0.0%	0.0%
2 家族などが代筆	20.2%	21.1%	無回答	6.1%	7.2%

## 1 あなた(ご本人)についておたずねします

問2 性別を教えてください。(1つに○)

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)		身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 男性	53.1%	48.1%	3 回答しない	0.9%	0.0%
2 女性	44.1%	49.4%	無回答	1.9%	2.5%

問3 年齢を教えてください。(1つに○) (令和4年10月1日現在)

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)		身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 10歳代	1.4%	0.0%	5 50歳代	34.7%	0.0%
2 20歳代	7.5%	0.0%	6 60歳代	24.4%	11.0%
3 30歳代	13.1%	0.0%	7 70歳代	0.0%	40.9%
4 40歳代	15.5%	0.0%	8 80歳以上	0.0%	45.6%
			無回答	3.3%	2.5%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問4 お住いの地域を教えてください。(1つに○)

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)		身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
みどりがおか たきさかしょうがっ 緑ヶ丘・滝坂小学 校地域	8.9%	13.1%	だいに やぐもだい 第二・八雲台・ こくりょうしょうがっこう 国領小学校 地域	19.7%	11.4%
わかば ちょうわしょうがっこう 若葉・調和小学校 地域	8.0%	12.7%	そめち すきもり ふ 染地・杉森・布 だしょうがっこう ちいき 田小学校地域	8.9%	11.8%
うえのはら かし のしょうがっこう 上ノ原・柏野小学校 地域	6.1%	11.8%	だいいち ふじみ 第一・富士見 だい たまがわしょう 台・多摩川小 がっこう ちいき 学校地域	16.4%	16.5%
きたのだい じんだいじしょうがっ 北ノ台・深大寺小学 校地域	10.3%	5.5%	だいさん いしわら とび 第三・石原・飛 たきゅうしょうがっこう 田給小学校 地域	18.8%	14.3%
			むかいとう 無回答	2.8%	3.0%

問5 住居形態を教えてください。(1つに○)

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)		身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 もちえ 持ち家	53.1%	63.7%	3 グループ ホーム	1.9%	0.0%
2 ちんたいじゅうたく みんかん 賃貸住宅(民間 アパート, 都営 じゅうたく ふく 住宅などを含む)	41.3%	30.8%	4 その他 (具体的に )	1.9%	3.4%
			むかいとう 無回答	1.9%	2.1%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問6 同居している家族を教えてください。(いくつでも○)

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 ひとり暮らし(グループホームなどを含む)	26.3%	21.5%
2 配偶者(夫または妻)	35.2%	55.3%
3 父親	17.8%	0.4%
4 母親	28.2%	0.8%
5 子ども(子どもの配偶者を含む)	15.5%	31.2%
6 孫(孫の配偶者を含む)	0.0%	2.5%
7 兄弟姉妹	15.5%	0.8%
8 祖父母	0.5%	0.4%
9 その他(具体的に: )	1.9%	3.4%
無回答	1.9%	2.5%

問7 おもちの手帳等とその等級を教えてください。(いくつでも○)

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 身体障害者手帳	97.7%	94.9%
2 愛の手帳	12.7%	0.8%
3 精神障害者保健福祉手帳	0.5%	0.4%
4 特定医療費(指定難病)受給者証(難病医療証)	11.7%	4.2%
5 持っていない	0.0%	1.3%
無回答	1.4%	3.4%

身体障害者手帳

身体(64歳以下)(n=208) 身体(65歳以上)(n=225)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)		身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1級	31.7%	35.6%	4級	19.2%	28.9%
2級	20.2%	9.8%	5級	6.3%	4.0%
3級	17.3%	12.9%	6級	3.4%	4.0%
			無回答	1.9%	4.9%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

愛の手帳

身体(64歳以下)(n=27) 身体(65歳以上)(n=2)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)		身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1度	22.2%	50.0%	3度	14.8%	0.0%
2度	18.5%	0.0%	4度	40.7%	0.0%
			無回答	3.7%	50.0%

精神障害者保健福祉手帳

身体(64歳以下)(n=1) 身体(65歳以上)(n=1)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)		身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1級	100.0%	0.0%	3級	0.0%	100.0%
2級	0.0%	0.0%	無回答	0.0%	0.0%

問8 どのような病気や障害がありますか。(いくつでも○) ※特定医療費(指定難病)  
受給者証をもつ人は、「11 その他」の欄に病名をご記入ください。

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 目が不自由(視覚障害)	8.5%	4.6%
2 耳が不自由(聴覚障害・平衡機能障害)	9.4%	10.5%
3 言葉が不自由(音声・言語・そしゃく障害)	12.2%	5.1%
4 手足が不自由(上肢・下肢障害・体幹機能障害・運動機能障害)	50.7%	41.4%
5 心臓, 腎臓, 肝臓, 呼吸器, ぼうこう, 直腸, 小腸などの障害(内部障害)	30.5%	45.1%
6 免疫機能障害	1.9%	0.4%
7 知的障害	13.1%	0.0%
8 精神疾患・精神障害(発達障害を除く)	0.5%	0.8%
9 発達障害(自閉スペクトラム症, 学習症(LD), 注意欠如・多動症(ADHD)など)	0.5%	0.0%
10 高次脳機能障害	3.3%	3.8%
11 その他(具体的に: )	9.9%	8.4%
無回答	1.4%	3.8%

## 2 相談支援についておたずねします

問9 悩みや困りごとがある場合、主にどこに相談しますか。(いくつでも○)

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 家族・親族(一緒に住んでいる・離れて住んでいる)	67.1%	66.2%
2 友人・知人	27.7%	19.8%
3 相談支援機関の職員(ちょうふだぞう, ドルチェ, 希望ヶ丘, ころの健康支援センター, サービス等利用計画の作成やモニタリングを行う相談支援専門員)	16.4%	4.2%
4 障害者施設(作業所, グループホームなど)の職員, ヘルパー	12.2%	0.8%
5 介護保険のケアマネジャー	5.2%	20.3%
6 市役所の職員	17.4%	8.4%
7 民生委員・児童委員	0.0%	1.3%
8 医療機関(医師, 看護師, ケースワーカー, 訪問看護)の職員	27.7%	26.2%
9 その他(具体的に )	5.2%	1.7%
10 相談する人がいない	8.0%	4.2%
11 相談の必要はない	3.8%	7.6%
無回答	1.9%	3.4%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問10 あなたは、医療機関(歯科を含む)の受診で困ることはありますか。(いくつでも○)

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 かかりつけ医(日常的に健康について相談できる医療機関)がない	9.4%	6.3%
2 かかりつけ歯科医(歯の健康や治療について相談できる歯科医)がない	4.7%	6.8%
3 定期的な健康診断を受けられない	3.3%	2.5%
4 定期的な歯科健診を受けられない	2.8%	2.5%
5 専門的な治療やリハビリを行う医療機関が身近にない	9.9%	4.2%
6 障害を理由に診療や健診などを断られたことがある	2.8%	1.3%
7 通院するときに介助してくれる人がいない	5.6%	3.0%
8 医療費や交通費の負担が大きい	16.0%	9.7%
9 医師・歯科医師とコミュニケーションがとりづらい	8.0%	4.6%
10 その他(具体的に: )	8.0%	3.0%
11 特にない	46.0%	57.8%
無回答	7.5%	13.1%

問11 今後、どのように生活したいですか。(1つに○)

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 親や兄弟などの家族と一緒に生活する	28.2%	24.9%
2 ひとり暮らし、または自分の配偶者と一緒に生活する	45.5%	43.0%
3 グループホームで生活する	4.7%	0.4%
4 入所施設で生活する	2.8%	6.8%
5 その他(具体的に: )	2.8%	2.5%
6 わからない	14.6%	15.6%
無回答	1.4%	6.8%

### 3 市民同士の支え合いについておたずねします

問12 近年、さまざまな主体による地域活動が行われています。あなたが参加しやすい活動は何ですか。(いくつでも○)

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 同じ地域に住んでいる人達の活動(自治会・地区協議会・老人クラブ・マンション管理組合など)	8.9%	16.5%
2 同じ趣味・志向をもつ人達の活動(趣味の同好会・教室・子育てサークルなど)	26.8%	27.0%
3 同じ障害や病気の人達の活動(当事者団体・家族会、障害者施設や病院でのサークルなど)	22.5%	9.7%
4 その他(具体的に: )	4.7%	3.8%
5 わからない、関心がない	50.2%	38.8%
無回答	4.2%	15.2%

問13 あなたは今後、地域活動・ボランティア活動に取り組みたいですか。(1つに○)

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 積極的に、取り組んでいきたい	1.9%	1.3%
2 できるだけ、取り組んでいきたい	12.2%	9.7%
3 機会があれば、取り組んでもよい	33.8%	24.9%
4 取り組みたいが、できない	16.0%	29.5%
5 あまり取り組みたくない	30.0%	24.1%
無回答	6.1%	10.5%



## 4 災害時の対策についておたずねします

問14 防災マップや洪水ハザードマップなどで避難場所・避難経路・警戒区域などを確認していますか。(1つに○)

	身体(64歳以下)(N=213)		身体(65歳以上)(N=237)	
	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 確認している	63.8%	66.7%	無回答 2.8%	3.0%
2 確認していない	33.3%	30.4%		

問15 災害や火災などの緊急の際、避難情報を主にどこからとりますか。(1つに○)

	身体(64歳以下)(N=213)	身体(65歳以上)(N=237)
	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 防災行政無線	7.0%	18.6%
2 調布市防災・安全情報メール	17.4%	18.6%
3 調布FM	1.4%	0.8%
4 市ホームページ	12.2%	7.6%
5 ケーブルテレビ	7.5%	9.3%
6 SNS(※)(市の公式アカウントを含む)	24.9%	6.3%
7 その他(具体的に: )	7.5%	5.5%
8 わからない	17.4%	24.1%
無回答	4.7%	9.3%

※SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)とは、登録された利用者同士が交流できる、コンピュータやスマートフォンなどを使用したインターネット上のサービス(例:ライン・ツイッター・フェイスブックなど)。

## 5 暮らしについておたずねします

問16 現在、給料や工賃を伴う仕事をしていますか。(1つに○)

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 正規の社員・職員・役員	25.8%	3.0%
2 非正規の社員・職員(嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣)	20.7%	3.8%
3 自由業・自営業(家業手伝いを含む)	5.2%	5.1%
4 障害者施設(作業所など)	10.8%	0.4%
5 仕事をしていたが、現在は仕事をしていない	28.2%	73.4%
6 これまで仕事をしたことがない(学生を含む)	7.0%	8.0%
無回答	2.3%	6.3%

問17 職場や学校の人に、あなたの障害や病気のことを伝えてありますか。(1つに○)

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)		身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 伝えている	73.7%	36.7%	無回答	11.7%	43.0%
2 伝えていない	14.6%	20.3%			

問18 あなたは、どのような形で働きたい(続けたい)ですか。(1つに○)

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 正規の社員・職員・役員	35.2%	3.0%
2 非正規の社員・職員(嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣)	19.2%	6.3%
3 自由業・自営業(家業手伝いを含む)	8.5%	5.9%
4 障害者施設(作業所など)	9.9%	1.7%
5 働きたいと思わない	6.6%	20.7%
6 働くことができない	17.4%	44.3%
無回答	3.3%	18.1%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問19 あなたが仕事をするために、必要なことはありますか。(いくつでも○)

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 技術, 知識, 資格などの習得	25.8%	3.8%
2 病気や障害に応じた柔軟な勤務日, 勤務時間の設定	39.4%	11.0%
3 病気や障害に応じた多様な働き方(在宅ワークなど)	37.1%	6.8%
4 雇用する会社の施設面でのバリアフリー	13.1%	2.1%
5 雇用する会社の相談体制や上司・同僚の病気や障害への理解, 協力	33.3%	5.5%
6 通勤や勤務中の介助や支援	11.3%	3.0%
7 就職支援や就職後の仕事の悩みなどを相談できる窓口	15.0%	3.0%
8 職場実習など, 就職前に試しに働く機会の拡大	8.0%	1.7%
9 その他(具体的に: )	4.7%	1.3%
10 特に必要ない	19.2%	51.5%
無回答	9.4%	30.8%

問20 普段の生活の中で、次のような機会がありますか。(それぞれ1つに○)

身体(64歳以下)(N=213)	十分にある	十分ではないが、機会はあるが、	機会がない	必要ない できない	無回答
ア 好きなところへ出かける(ヘルパー利用も含む)	52.1%	29.1%	6.1%	8.9%	3.8%
イ 友人・知人との交流	40.4%	31.5%	16.4%	7.0%	4.7%
ウ スポーツ・運動(※1)をする機会	16.9%	30.0%	22.1%	26.8%	4.2%
エ 美術・音楽などの文化芸術活動(※2)の機会	25.4%	24.4%	29.1%	16.0%	5.2%
オ ウ, エ以外の趣味や習いごと	21.6%	20.2%	32.4%	20.7%	5.2%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

身体(65歳以上)(N=237)	十分にある	十分ではない 機会はあるが、 十分ではない	機会がない	必要ない できない	無回答
ア 好きなところへ出かける(ヘルパー 利用も含む)	31.2%	22.4%	12.2%	18.6%	15.6%
イ 友人・知人との交流	31.2%	24.9%	14.8%	15.6%	13.5%
ウ スポーツ・運動(※1)をする機会	20.7%	16.9%	13.9%	33.8%	14.8%
エ 美術・音楽などの文化芸術活動 (※2)の機会	13.9%	15.2%	23.6%	28.7%	18.6%
オ ウ,エ以外の趣味や習いごと	12.2%	10.5%	20.7%	35.4%	21.1%

※1 ここでの「スポーツ・運動」とは、ウォーキング、体操、ヨガなど、競技だけでなく健康づくりのための活動も含みます。これ以降の質問についても同じです。

※2 ここでの「文化芸術活動」とは、絵を描くこと、美術館・博物館などに行くこと、歌を歌ったり、演奏したりすることを含みます。

問21 スポーツ・運動をする機会はどのくらいありますか。(1つに○)

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)		身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 週に2回以上	23.5%	25.7%	3 月に1, 2 回程度	8.9%	4.2%
2 週に1回程度	11.7%	14.8%	4 ほとんどし ない	53.5%	48.5%
			無回答	2.3%	6.8%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問22 スポーツ・運動<sup>うんどう</sup>をどこでしたいですか。(いくつでも○)

身体(64歳以下)<sup>しんたい</sup>(N=213) 身体(65歳以上)<sup>しんたい</sup>(N=237)

	身体 <sup>しんたい</sup> (64歳以下) <sup>さいい か</sup>	身体 <sup>しんたい</sup> (65歳以上) <sup>さいい じょう</sup>
1 地域 <sup>ちいき</sup> の体育館 <sup>たいいくかん</sup>	16.0%	11.4%
2 民間 <sup>みんかん</sup> のスポーツクラブ	18.8%	11.0%
3 通所 <sup>つうしょ</sup> 先の施設 <sup>しせつ</sup> (作業所 <sup>きぎょうしょ</sup> など)	8.0%	3.8%
4 地域 <sup>ちいき</sup> の公園 <sup>こうえん</sup> や広場 <sup>ひろば</sup>	22.1%	15.2%
5 自宅 <sup>じたく</sup>	31.5%	21.1%
6 その他 <sup>たぐたいてき</sup> (具体的に: )	8.9%	5.1%
7 しない, できない	31.0%	33.8%
無回答 <sup>むかいどう</sup>	4.2%	13.1%

問23 スポーツ・運動<sup>うんどう</sup>をするために必要な支援<sup>ひつよう しえん</sup>は何ですか。(いくつでも○)

身体(64歳以下)<sup>しんたい</sup>(N=213) 身体(65歳以上)<sup>しんたい</sup>(N=237)

	身体 <sup>しんたい</sup> (64歳以下) <sup>さいい か</sup>	身体 <sup>しんたい</sup> (65歳以上) <sup>さいい じょう</sup>
1 活動 <sup>かつどう</sup> できる場所 <sup>ばしよ</sup>	31.0%	19.0%
2 指導 <sup>しどうしや</sup> 者	19.2%	11.0%
3 障害 <sup>しょうがい</sup> に応じた器具 <sup>きぐ</sup> ・用具 <sup>ようぐ</sup>	17.4%	10.1%
4 障害 <sup>しょうがい</sup> に応じたプログラム <sup>じゅうじつ</sup> の充実 <sup>じょうほうていきょう</sup> や情報提供	31.0%	12.2%
5 活動 <sup>かつどう</sup> 場所 <sup>ばしよ</sup> までの移動 <sup>いどう</sup> 手段 <sup>しゅだん</sup>	15.0%	9.7%
6 活動 <sup>かつどう</sup> を介助 <sup>かいじょ</sup> ・サポート <sup>しえんしや</sup> してくれる支援者	15.5%	8.9%
7 一緒に <sup>いっしょ</sup> 活動 <sup>かつどう</sup> する仲間 <sup>なかま</sup>	20.2%	16.9%
8 その他 <sup>たぐたいてき</sup> (具体的に: )	8.0%	2.5%
9 スポーツ・運動 <sup>うんどう</sup> はしない, できない	23.9%	30.0%
無回答 <sup>むかいどう</sup>	5.6%	20.7%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問24 コロナ禍によってあなたの暮らしに影響はありましたか。(それぞれ1つに○)

身体(64歳以下)(N=213)	増えた	変化なし	減った	・事柄が該当しない わからない	無回答
ア 人と直接会って話す機会の頻度	1.4%	27.7%	61.5%	3.8%	5.6%
イ 人と電話やラインなどで話す頻度	17.8%	46.5%	19.7%	11.3%	4.7%
ウ ホームヘルパー(家事や自宅での介護)の利用回数	1.4%	13.1%	1.4%	75.6%	8.5%
エ 障害者施設(作業所など)への通所回数	0.5%	13.6%	7.5%	71.4%	7.0%
オ ショートステイ(短期入所)の利用回数	0.5%	6.6%	3.8%	79.8%	9.4%
カ 仕事や通所以外での外出回数(ガイドヘルパーの利用を含む)	0.5%	24.9%	32.9%	35.2%	6.6%
キ 仕事(会社に行く)の日数や収入	2.3%	37.1%	24.9%	30.5%	5.2%
ク スポーツ・運動などで体を動かす時間	4.2%	33.3%	34.3%	23.0%	5.2%
ケ 趣味や好きなことをする時間	13.6%	45.1%	27.7%	9.4%	4.2%

身体(65歳以上)(N=237)	増えた	変化なし	減った	・事柄が該当しない わからない	無回答
ア 人と直接会って話す機会の頻度	1.3%	22.4%	58.2%	7.2%	11.0%
イ 人と電話やラインなどで話す頻度	12.2%	35.9%	30.8%	9.7%	11.4%
ウ ホームヘルパー(家事や自宅での介護)の利用回数	1.7%	15.2%	0.8%	58.6%	23.6%
エ 障害者施設(作業所など)への通所回数	0.0%	8.9%	3.0%	62.9%	25.3%
オ ショートステイ(短期入所)の利用回数	0.4%	5.9%	0.8%	66.2%	26.6%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

	増 えた	変 化 な し	減 つ た	・ わ か ら な い 事 柄 が 該 当 し な い	無 回 答
身体(65歳以上)(N=237)					
カ 仕事や通所以外での外出回数(ガイドヘルパーの利用を含む)	1.3%	19.0%	23.2%	35.4%	21.1%
キ 仕事(会社に行く)の日数や収入	0.0%	9.3%	7.2%	59.9%	23.6%
ク スポーツ・運動などで体を動かす時間	1.3%	28.3%	27.4%	27.4%	15.6%
ケ 趣味や好きなことをする時間	3.8%	35.0%	27.0%	19.0%	15.2%

## 6 誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします

問25 調布のまちは、障害(身体障害、知的障害、精神障害、難病など)のある人にとって、福祉サービス、バリアフリー、市民意識などを総合的に考え、住みやすいまちであると感じますか。(1つに○)

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 住みやすいと思う	18.3%	25.3%
2 どちらかといえば、住みやすいと思う	56.3%	50.6%
3 どちらかといえば、住みやすいと思わない	15.0%	11.0%
4 住みやすいと思わない	7.5%	4.2%
無回答	2.8%	8.9%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問26 市内のバリアフリーについて、どのように感じていますか。(それぞれ1つに○)

身体(64歳以下)(N=213)	充実している とても	充実している	充実していない あまり	充実していない	わからない	無回答
ア 車いすの人や誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす、幅を広げるなど)	3.8%	15.5%	33.8%	12.7%	29.6%	4.7%
イ 公共施設や病院などのスロープ、エレベーターやエスカレーター	7.0%	33.8%	24.4%	8.5%	22.1%	4.2%
ウ 車いすの人や乳幼児を連れた人、介助者の同伴が必要な人など、誰もが使いやすいトイレ	4.7%	17.4%	29.6%	12.7%	29.6%	6.1%
エ 歩きやすいように障害物(商品や看板、放置自転車、電柱など)が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路	2.3%	10.3%	34.7%	26.8%	21.1%	4.7%
オ 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	2.3%	14.1%	20.7%	9.4%	47.4%	6.1%
カ 車いすやベビーカーで乗降しやすい超低床バスやリフト付バス	2.8%	16.0%	20.7%	11.3%	42.7%	6.6%
キ 車いす使用者等用の駐車場	2.3%	13.1%	20.7%	11.3%	46.0%	6.6%
ク 誰もがわかりやすいデザイン(文字の大きさ・種類・色・イラストなど)及び位置における、多言語を用いた案内表示	2.8%	16.9%	21.1%	8.5%	44.6%	6.1%
ケ 手話への対応や音声ガイドがある施設	1.4%	5.2%	12.2%	10.3%	63.8%	7.0%
コ 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	0.5%	4.2%	11.3%	11.3%	65.7%	7.0%
サ 公園・道路などを含む、まち全体のユニバーサルデザイン(※)	0.5%	10.8%	24.9%	15.0%	42.7%	6.1%
シ 高齢者、子ども連れの家族、障害や病気などがある人に対する人々の接し方や配慮	2.3%	15.0%	28.6%	16.4%	32.4%	5.2%



調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

身体(65歳以上)(N=237)	充実に あつめて いる	充実に あつめて いる	充実に あつめて いない	充実に あつめて いない	わからない	無回答
ア 車いすの人や誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす、幅を広げるなど)	1.7%	14.3%	27.8%	13.1%	26.2%	16.9%
イ 公共施設や病院などのスロープ、エレベーターやエスカレーター	3.4%	34.2%	21.1%	4.6%	20.3%	16.5%
ウ 車いすの人や乳幼児を連れた人、介助者の同伴が必要な人など、誰もが使いやすいトイレ	2.1%	16.5%	28.7%	6.3%	30.0%	16.5%
エ ある歩きやすいように障害物(商品や看板、放置自転車、電柱など)が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路	1.7%	8.4%	31.6%	25.3%	17.7%	15.2%
オ 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	1.3%	14.3%	18.6%	9.7%	37.6%	18.6%
カ 車いすやベビーカーで乗降しやすい超低床バスやリフト付バス	1.3%	12.2%	21.9%	11.4%	36.3%	16.9%
キ 車いす使用者等用の駐車場	1.3%	5.9%	19.4%	12.7%	42.6%	18.1%
ク 誰もがわかりやすいデザイン(文字の大きさ・種類・色・イラストなど)及び位置における、多言語を用いた案内表示	0.8%	5.9%	20.3%	9.3%	45.6%	18.1%
ケ 手話への対応や音声ガイドがある施設	0.8%	1.7%	11.0%	7.2%	60.3%	19.0%
コ 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	0.4%	0.8%	10.1%	11.0%	58.2%	19.4%
サ 公園・道路などを含む、まち全体のユニバーサルデザイン(※)	1.3%	5.9%	19.0%	13.5%	42.2%	18.1%
シ 高齢者、子ども連れの家族、障害や病気などがある人に対する人々の接し方や配慮	2.1%	11.4%	25.7%	10.1%	33.8%	16.9%

※ ユニバーサルデザインとは、道路・住宅・製品などを設計・製造する場合に、障害のある人用という区分けをなくし、誰もが使えるものを作るという考え方。

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問27 誰もが暮らしやすいまちづくりに向けて、病気・障害・国籍・生活習慣などの違いによる心理的な障壁を取り除く(心のバリアフリー)のために、特に必要な取組は何だと思いますか。(2つまで○)

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 学校における、お互いを理解し、思いやる心を育てるための教育や、障害者などさまざまな人と触れ合う機会の充実	52.6%	40.1%
2 意識啓発のための研修・講演会の開催	9.9%	9.7%
3 障害者や外国人など、さまざまな住民が交流する機会を増やす	30.5%	26.2%
4 わかりやすい情報発信	37.6%	34.6%
5 その他(具体的に: )	3.8%	1.3%
6 わからない	15.0%	16.9%
無回答	4.7%	14.3%

問28 お互いにその人らしさを認め合い、ともに生きる社会をめざす法律や取組をご存知ですか。(それぞれ1つに○)

身体 (64歳以下) (N=213)	内容を 知っている	(内容は 知らない)	知らない	無 回 答	説明
ア 障害者差別 解消法	17.4%	35.2%	45.1%	2.3%	障害を理由とする差別の解消を推進することを目的とする法律(平成28年4月1日施行)
イ 合理的配慮	14.6%	29.1%	53.1%	3.3%	役所や事業者に対し、障害者から社会の中にあるバリア(生活がしづらくなる社会的障壁)を取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられた時に、負担が重すぎない範囲で対応すること。

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

	内容を 知っている	(内容は 知らない)	知らない	無 回 答	せつめい 説明
身体(65歳以上) (N=237)					
ア 障害者差別 解消法	8.4%	24.5%	52.3%	14.8%	障害を理由とする差別の解消を 推進することを目的とする法律(平成 28年4月1日施行)
イ 合理的配慮	4.6%	19.0%	59.5%	16.9%	役所や事業者に対し、障害者から 社会の中にあるバリア(生活がしづらくな る社会的障壁)を取り除くために何らか の対応を必要としているとの意思が伝え られた時に、負担が重すぎない範囲で 対応すること。

問29 普段の暮らしや外出のとき、障害や病気への差別や偏見、配慮のなさを感じる場面はあり  
ますか。(いくつでも○)

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 教育の機会	8.9%	3.0%
2 仕事や収入	23.0%	4.2%
3 近所付き合いや地域の行事・活動	4.7%	4.6%
4 店での扱いや店員の対応・態度	16.9%	8.4%
5 まちなかでの人の視線	23.0%	6.3%
6 交通機関や建物のつくりの配慮	29.1%	19.0%
7 行政職員の対応・態度	9.9%	5.1%
8 その他(具体的に: )	8.5%	2.1%
9 特に感じない	28.6%	53.2%
無回答	7.5%	16.5%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問30 あなたは、調布市が配布しているヘルプカード(※)、ヘルプマーク(※)をえていますか。  
(それぞれ1つに○)

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体(64歳以下)	
①ヘルプカード	1 もっていて、いつも、もち歩いている	15.5%
	2 もっているが、もち歩いていない	31.9%
	3 もっていないが、ほしいと思う	14.1%
	4 もっていないし、必要ない	31.9%
	無回答	6.6%
②ヘルプマーク	1 もっていて、いつも、もち歩いている	21.1%
	2 もっているが、もち歩いていない	21.6%
	3 もっていないが、ほしいと思う	15.0%
	4 もっていないし、必要ない	35.7%
	無回答	6.6%

	身体(65歳以上)	
①ヘルプカード	1 もっていて、いつも、もち歩いている	17.7%
	2 もっているが、もち歩いていない	20.7%
	3 もっていないが、ほしいと思う	14.3%
	4 もっていないし、必要ない	30.4%
	無回答	16.9%
②ヘルプマーク	1 もっていて、いつも、もち歩いている	12.2%
	2 もっているが、もち歩いていない	14.8%
	3 もっていないが、ほしいと思う	19.8%
	4 もっていないし、必要ない	32.1%
	無回答	21.1%

※ヘルプカードは、障害のある人が緊急連絡先、医療情報、手伝ってほしい内容などを記載して、普段から身に付けておくことで、緊急時や災害時、日常の困ったときに、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするものです。障害福祉課の窓口で配布しています。これとは別に、障害のある人に限らず、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている人のために「ヘルプマーク」もあります。



ヘルプカード



ヘルプマーク

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問31 ヘルプカードやヘルプマークをもっていることで、周囲の人に配慮してもらったり、手助けを  
してもらったりしたことがありますか。(1つに○)

身体(64歳以下)(n=33) 身体(65歳以上)(n=42)

		身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
①ヘルプカード	1 ある	39.4%	28.6%
	2 ない	45.5%	66.7%
	3 もっていない・わからない	12.1%	4.8%
	無回答	3.0%	0.0%

身体(64歳以下)(n=45) 身体(65歳以上)(n=29)

		身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
②ヘルプマーク	1 ある	51.1%	44.8%
	2 ない	44.4%	51.7%
	3 もっていない・わからない	2.2%	0.0%
	無回答	2.2%	3.4%

## 7 デジタルの活用についておたずねします

問32 調布市の保健福祉施策(サービス)に関する情報をどこから入手していますか。(いくつでも○)

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 市のホームページ	37.1%	18.6%
2 市の広報紙・チラシ	46.5%	49.4%
3 市役所・相談機関などの窓口	17.4%	11.4%
4 テレビ(ケーブルテレビを含む)・ラジオ	3.8%	1.3%
5 家族, 友人・知人からの口コミ	12.7%	16.5%
6 SNS	8.9%	2.1%
7 その他(具体的に: )	3.8%	1.3%
8 特にない, 情報は入手していない	21.6%	26.2%
無回答	3.8%	10.1%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問33 普段、スマートフォンなどの情報端末やパソコンなどを使っていますか。(1つに○)

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)		身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 使っている	77.9%	42.2%	無回答	3.8%	7.6%
2 使っていない	18.3%	50.2%			

問34 市や社会福祉協議会の講座やイベントがオンラインで開催されたら、参加しやすくなりますか。(1つに○)

身体(64歳以下)(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)		身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 参加しやすくなる	28.6%	14.3%	3 参加しづらくなる	6.1%	11.8%
2 変わらない	57.3%	52.7%	無回答	8.0%	21.1%

問35 あなたがスマートフォンなどの情報端末やパソコンなどを使っていたいこと、暮らしの利便性を高めるアイデアがございましたら、教えてください。(自由記述)

## 8 調布市の障害者福祉施策についておたずねします

問36 あなたは次の調布市の相談窓口や制度を知っていますか。(それぞれ1つに○)

身体(64歳以下) (N=213)	知っている	知らない	無回答	説明
ア ドルチェ	31.9%	62.4%	5.6%	主に身体障害、高次脳機能障害のある人の相談窓口です。
イ ちょうふだそう	35.7%	58.7%	5.6%	主に知的障害のある人の相談窓口です。
ウ 希望ヶ丘	9.9%	83.1%	7.0%	主に精神障害のある人の相談窓口です。
エ こころの健康 支援センター	16.0%	77.0%	7.0%	主に精神障害、発達障害のある人の相談窓口です。
オ 難病相談窓口 (障害福祉課・ 予約制)	16.4%	76.5%	7.0%	難病にかかったことでの不安や悩みごと全般に対する相談窓口です。

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

身体(64歳以下) (N=213)	知っている	知らない	無回答	説明
カ 障害者虐待防止センター (障害福祉課)	11.7%	81.7%	6.6%	障害者の虐待に関する相談・通報を受ける窓口です。
キ 地域福祉コーディネーター	18.3%	74.2%	7.5%	「困ったことがあるけど、どこに相談したらいいのかわからない」ときなど、福祉のことならなんでも相談できる窓口です。
ク 成年後見制度	43.2%	50.2%	6.6%	判断能力が不十分であるために意思決定が困難な人の判断能力を後見人などが補っていくことによって、法的に保護する制度です。

身体(65歳以上) (N=237)	知っている	知らない	無回答	説明
ア ドルチェ	15.2%	65.0%	19.8%	主に身体障害、高次脳機能障害のある人の相談窓口です。
イ ちょうふだぞう	13.9%	66.2%	19.8%	主に知的障害のある人の相談窓口です。
ウ 希望ヶ丘	7.6%	71.3%	21.1%	主に精神障害のある人の相談窓口です。
エ こころの健康支援センター	16.9%	63.3%	19.8%	主に精神障害、発達障害のある人の相談窓口です。
オ 難病相談窓口 (障害福祉課・予約制)	13.5%	65.8%	20.7%	難病にかかったことでの不安や悩みごと全般に対する相談窓口です。
カ 障害者虐待防止センター (障害福祉課)	15.2%	65.0%	19.8%	障害者の虐待に関する相談・通報を受ける窓口です。
キ 地域福祉コーディネーター	22.8%	59.5%	17.7%	「困ったことがあるけど、どこに相談したらいいのかわからない」ときなど、福祉のことならなんでも相談できる窓口です。
ク 成年後見制度	40.1%	41.4%	18.6%	判断能力が不十分であるために意思決定が困難な人の判断能力を後見人などが補っていくことによって、法的に保護する制度です。

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問37 調布市の障害者福祉施策(サービス)をより充実していくために、特に重要と考える取組は何ですか。(いくつでも○)

身体(64歳)以下(N=213) 身体(65歳以上)(N=237)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 困ったことや福祉サービスの利用などを気軽に相談できる窓口	61.0%	47.3%
2 健康づくりや地域での医療サービス	23.0%	21.1%
3 手当や医療費の助成などの経済的な支援	59.2%	38.4%
4 成年後見制度など、金銭・財産などの管理の支援	16.9%	8.9%
5 ホームヘルプなど、在宅生活を支援するサービス	23.0%	23.2%
6 ガイドヘルパー、コミュニケーション支援など、社会参加の支援	14.1%	4.6%
7 介助者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ	23.5%	24.9%
8 日中の活動場所(作業所などの障害者施設)の整備	15.5%	6.8%
9 企業などで働くための支援(就労支援)	31.9%	6.3%
10 仕事以外の趣味や余暇活動・スポーツ活動などの支援や場所の整備	19.2%	15.6%
11 グループホームなど、地域における住まいの場の整備	14.6%	6.3%
12 障害理解の促進や差別の解消	25.8%	9.7%
13 公共施設や道路、交通機関などのバリアフリー	37.1%	30.8%
14 障害に応じた多様な情報提供の充実	31.5%	21.9%
15 災害時の支援体制の整備	36.6%	30.4%
16 その他(具体的に: )	7.0%	0.4%
無回答	7.0%	24.1%

問38 市民同士がお互いに支え合い、住み慣れたまちで誰もが安心して暮らすまちづくりの取組について、ご意見、ご提案をお聞かせください。(自由記述)

ア 地域活動、市民同士の支え合い	
イ 相談、サービス	
ウ 安全・安心	
エ 上記以外	



9 主に本人の介助や支援をしているご家族におたずねします  
(ひとり暮らし、グループホームなどの人は回答不要です)

問39 ご本人を主に介助や支援をしているご家族におたずねします(ご家族以外は回答不要)。  
主に介助や支援をしている人の年齢を教えてください。(1つに○)

身体(64歳以下)(n=118) 身体(65歳以上)(n=118)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)		身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 10歳代	2.5%	0.0%	5 50歳代	28.0%	11.9%
2 20歳代	2.5%	0.0%	6 60歳代	34.7%	26.3%
3 30歳代	6.8%	0.0%	7 70歳代	7.6%	27.1%
4 40歳代	11.9%	6.8%	8 80歳以上	5.9%	28.0%

問40 あなたを主に介助や支援をしているご家族におたずねします(ご家族以外は回答不要)。  
介助や支援に当たってどのような不安や困りごとがありますか。(いくつでも○)

身体(64歳以下)(n=118) 身体(65歳以上)(n=118)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 障害や病気のことがよくわからない	8.5%	11.0%
2 適切な介助・支援の方法がわからない	13.6%	13.6%
3 自分の時間がもてない(余暇・外出・休養など)	20.3%	24.6%
4 自分の希望する仕事につくこと・続けることが難しい	8.5%	3.4%
5 自分の学校・学業がおろそかになる	0.0%	0.0%
6 介助・支援をする家族自身の高齢化	37.3%	44.9%
7 介助・支援をする家族自身も病気や障害がある	17.8%	20.3%
8 本人のほかにも介助・支援が必要な家族がいる	5.1%	11.9%
9 何かあったときに本人の介助・支援を頼める人(場所)がない	33.1%	25.4%
10 相談できる場所がない	8.5%	13.6%
11 障害のある当事者、家族同士の情報交換、交流の機会がない	16.9%	5.1%
12 経済的な負担が大きい	15.3%	19.5%
13 その他(具体的に: )	8.5%	0.8%
14 特になし	16.1%	15.3%
無回答	6.8%	7.6%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問41 あなたを主に介助や支援をしているご家族におたずねします(ご家族以外は回答不要)。  
 介助する人への支援として力を入れてほしいことは何ですか。(いくつでも○)

身体(64歳以下)(n=118) 身体(65歳以上)(n=118)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1 介助者同士が交流したり,話し合える場を作ってくれること	7.6%	5.9%
2 本人の介助や支援から離れる時間を作ってくれること	18.6%	24.6%
3 家事や育児を手伝ってくれること	9.3%	7.6%
4 介助や支援の状況に柔軟に対応してくれる職場環境や働き 方の普及	21.2%	9.3%
5 支援制度や福祉サービスなどの情報提供・相談窓口の充実	40.7%	43.2%
6 その他(具体的に: )	9.3%	3.4%
無回答	24.6%	33.1%

アンケートは以上です。たくさんの質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。  
 調査結果は市ホームページで公表し、図書館などで閲覧できます(令和5年4月頃の予定)。

## 障害のある人が暮らしやすいまちづくりのための 福祉に関するアンケート(18歳以上)(知的障害, 精神障害, 難病)

きょうりょく ねが  
～ご協力のお願い～

みな かいとう しょうがい ひと くらし やすい ささ あ まちづくり やくだ  
皆さまの回答は、障害のある人が暮らしやすい、支え合うまちづくりに役立っています。

しみん みな ひごろ しせい はってん りかい きょうりょく あつ れいもう  
市民の皆さまには、日頃から市政発展のためにご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。

し こ ちうれいしゃ だれ あんしん く いっそうすす  
市では、子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らしやすいまちづくりを一層進めるため、来年度に「地域福祉計画」「高齢者総合計画」「障害者総合計画」をそれぞれ策定いたします。

けいかく しみん みな いけん しょうがいしやてちう とくていりりょうび していなんびょう  
これらの計画に市民の皆さまの意見をいかすため、障害者手帳や特定医療費(指定難病)受給者証をおもちの方の中から1,800人を無作為抽出したところ、あなたにアンケートをお願いすることになりました。

これからの福祉は市民が主役です。

た ちいき かつどう さんか だれ こま  
例えば、地域の活動に参加したり、誰かが困っている  
とき こそ 声をかけたりすることも、支え合うまちづくりのひとつです。

しみん みな ちいき だんたい しょうてん がっこう  
市民の皆さまをはじめ、地域の団体や商店、学校や  
きぎょう みな いっしょ  
企業などの皆さまと一緒に、みんなで支え合うこと  
がととても大切になります。

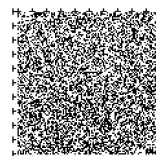
このアンケートは無記名です。回答は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。また、回答を調査目的以外に使用することはありません。

いそが まこと きょうしゆく ぞん ちようさ しゅし りかい きょうりょく ねが  
お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い  
もう  
申し上げます。

れいわ ねん がつ ちようふしちよう なが とも よし き  
令和4年10月 調布市長 長友貴樹



ちようきひょう かく おんせい  
※調査票の各ページには、「音声コード(Uni-Voice)」を付しています。「音声コード」とは、1.8センチメートル角のコードを専用の読取機やスマートフォン用アプリが音声に変換し、文章内容を読み上げるものです。



～記入についてのお願い～

【回答期限】 令和4年10月31日(月)

【回答方法】 《郵送》または《インターネット》

(※どちらか一つの方法で、投函もしくは送信してください)

《郵送》調査票による回答の方法

- ①封筒のあて名ご本人がお答えください。また、ご本人が回答することが難しい場合、ご本人の意見を聞いて、ご家族や代理の人が記入しても差し支えありません。
- ②回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は番号を○で囲み、( )に具体的な内容を記入してください。
- ③質問によっては、回答数や回答者が限られる場合があります。
- ④回答しづらい、わからない場合は無理をせず、次の間に進んでください。全ての質問に回答できなくても大丈夫です。
- ⑤回答終了後、同封の返信用封筒に入れて封かんし、回答期限までにポストに投函してください。

《インターネット》回答の方法

- ①以下のURL、またはQRコードから専用ウェブサイトにアクセスしてください。
- ②調査票と同じ質問が画面に表示されます。
- ③回答には30分から1時間程度かかります。途中保存はできませんので、お時間に余裕のある時にご回答ください。

<専用ウェブサイトURL>

[https://questant.jp/q/city\\_chofu\\_fukushisgl](https://questant.jp/q/city_chofu_fukushisgl)



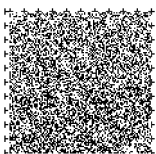
【調査についてのお問い合わせ先】

調布市 福祉健康部 障害福祉課

電話 042-481-7135・7089・7094(課直通)

Fax 042-481-4288

E-mail syougai@w2.city.chofu.tokyo.jp



調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問1 この調査に回答していただく人を教えてください。(1つに○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病		知的	精神	難病
1 本人	40.7%	81.4%	87.8%	3 その他	1.1%	0.0%	0.0%
2 家族などが代筆	52.2%	10.2%	7.0%	無回答	6.0%	8.5%	5.2%

## 1 あなた(ご本人)についておたずねします

問2 性別を教えてください。(1つに○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病		知的	精神	難病
1 男性	65.9%	49.2%	39.0%	3 回答しない	2.2%	2.3%	0.0%
2 女性	27.5%	44.6%	59.3%	無回答	4.4%	4.0%	1.7%

問3 年齢を教えてください。(1つに○) (令和4年10月1日現在)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病		知的	精神	難病
1 10歳代	3.8%	1.1%	0.0%	5 50歳代	12.6%	25.4%	20.9%
2 20歳代	29.7%	9.0%	4.7%	6 60歳代	3.3%	9.0%	13.4%
3 30歳代	26.4%	16.9%	8.1%	7 70歳代	1.6%	8.5%	22.1%
4 40歳代	15.9%	24.9%	14.5%	8 80歳以上	2.2%	1.1%	14.5%
				無回答	4.4%	4.0%	1.7%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問4 お住いの地域を教えてください。(1つに○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病		知的	精神	難病
みどりがおか たきさか 緑ヶ丘・滝坂 しょうがっこう ちいき 小学校地域	10.4%	9.6%	9.3%	だいに やぐもだい こく 第二・八雲台・国 りょうしょうがっこう ちいき 領小学校地域	16.5%	17.5%	15.1%
わかば ちようわしやう 若葉・調和小 がっこう ちいき 学校地域	8.2%	7.3%	14.0%	そめち すぎもり ふだ 染地・杉森・布田 しょうがっこう ちいき 小学校地域	13.7%	13.6%	12.8%
うえのはら かし の 上ノ原・柏野 しょうがっこう ちいき 小学校地域	8.8%	9.0%	5.8%	だいち ふじみだい た 第一・富士見台・多 まがわしやうがっこう ちいき 摩川小学校地域	12.1%	14.1%	15.1%
きたのだい じんだいじ 北ノ台・深大寺 しょうがっこう ちいき 小学校地域	9.9%	9.0%	8.7%	だいきん いしわら とび た 第三・石原・飛田 きゅうしょうがっこう ちいき 給小学校地域	15.4%	13.0%	16.3%
				む かいとう 無回答	4.9%	6.8%	2.9%

問5 住居形態を教えてください。(1つに○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病		知的	精神	難病
1 も いえ 持ち家	55.5%	45.8%	64.0%	3 グループ ホーム	7.7%	1.1%	0.6%
2 ちんたいじゆうたく 賃貸住宅 (民間アパー みんかん ト, 都営住宅 とえいじゆうたく などを含む) ふく	26.9%	45.2%	27.3%	4 その他 ぐたいてきに )	4.9%	5.6%	4.7%
				む かいとう 無回答	4.9%	2.3%	3.5%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問6 同居している家族を教えてください。(いくつでも○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病
1 ひとり暮らし(グループホームなどを含む)	14.3%	32.8%	18.6%
2 配偶者(夫または妻)	2.2%	24.3%	59.9%
3 父親	61.5%	19.8%	4.7%
4 母親	70.3%	33.9%	11.6%
5 子ども(子どもの配偶者を含む)	2.7%	15.8%	32.6%
6 孫(孫の配偶者を含む)	0.0%	0.0%	0.6%
7 兄弟姉妹	27.5%	10.7%	4.7%
8 祖父母	4.4%	0.0%	0.0%
9 その他(具体的に: )	1.6%	2.8%	1.2%
無回答	4.9%	1.7%	4.1%

問7 おもちの手帳等とその等級を教えてください。(いくつでも○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病
1 身体障害者手帳	1.6%	14.1%	1.2%
2 愛の手帳	84.1%	3.4%	0.6%
3 精神障害者保健福祉手帳	0.0%	80.2%	0.6%
4 特定医療費(指定難病)受給者証(難病医療証)	0.5%	4.0%	81.4%
5 持っていない	1.1%	2.8%	13.4%
無回答	14.3%	4.0%	4.1%

身体障害者手帳

知的(n=3) 精神(n=25) 難病(n=2)

	知的	精神	難病		知的	精神	難病
1級	0.0%	16.0%	0.0%	4級	33.3%	8.0%	0.0%
2級	0.0%	36.0%	50.0%	5級	0.0%	8.0%	0.0%
3級	0.0%	20.0%	50.0%	6級	0.0%	4.0%	0.0%
				無回答	66.7%	8.0%	0.0%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

愛の手帳

知的(n=153) 精神(n=6) 難病(n=1)

	知的	精神	難病		知的	精神	難病
1度	1.3%	16.7%	0.0%	3度	19.6%	33.3%	100.0%
2度	24.2%	0.0%	0.0%	4度	49.0%	50.0%	0.0%
				無回答	5.9%	0.0%	0.0%

精神障害者保健福祉手帳

知的(n=0) 精神(n=142) 難病(n=1)

	知的	精神	難病		知的	精神	難病
1級	0.0%	3.5%	0.0%	3級	0.0%	46.5%	0.0%
2級	0.0%	45.1%	0.0%	無回答	0.0%	4.9%	100.0%

問8 どのような病気や障害がありますか。(いくつでも○) ※特定医療費(指定難病)受給者証をもつ人は、「11 その他」の欄に病名をご記入ください。

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病
1 目が不自由(視覚障害)	0.0%	1.1%	1.7%
2 耳が不自由(聴覚障害・平衡機能障害)	1.1%	1.7%	0.6%
3 言葉が不自由(音声・言語・そしゃく障害)	7.1%	0.6%	0.6%
4 手足が不自由(上肢・下肢障害・体幹機能障害・運動機能障害)	1.6%	4.0%	5.8%
5 心臓, 腎臓, 肝臓, 呼吸器, ぼうこう, 直腸, 小腸などの障害(内部障害)	1.1%	2.8%	21.5%
6 免疫機能障害	0.0%	0.6%	12.2%
7 知的障害	83.5%	1.7%	0.6%
8 精神疾患・精神障害(発達障害を除く)	4.4%	76.8%	0.6%
9 発達障害(自閉スペクトラム症, 学習症(LD), 注意欠如・多動症(ADHD)など)	28.0%	16.4%	0.6%
10 高次脳機能障害	0.5%	5.6%	0.0%
11 その他(具体的に: )	4.9%	4.5%	49.4%
無回答	6.0%	6.2%	18.0%



## 2 相談支援についておたずねします

問9 悩みや困りごとがある場合、主にどこに相談しますか。(いくつでも○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病
1 家族・親族(一緒に住んでいる・離れて住んでいる)	65.9%	61.0%	69.8%
2 友人・知人	13.2%	27.7%	21.5%
3 相談支援機関の職員(ちょうふだぞう,ドルチェ,希望ヶ丘,こころの健康支援センター,サービス等利用計画の作成やモニタリングを行う相談支援専門員)	52.2%	32.8%	2.9%
4 障害者施設(作業所,グループホームなど)の職員,ヘルパー	31.3%	13.6%	0.0%
5 介護保険のケアマネジャー	1.1%	2.8%	12.2%
6 市役所の職員	9.9%	9.6%	4.7%
7 民生委員・児童委員	1.1%	0.6%	0.0%
8 医療機関(医師,看護師,ケースワーカー,訪問看護)の職員	12.6%	48.0%	34.9%
9 その他(具体的に )	4.4%	5.6%	3.5%
10 相談する人がいない	2.2%	10.2%	4.7%
11 相談の必要はない	3.3%	1.7%	8.1%
無回答	3.8%	4.0%	4.7%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問10 あなたは、医療機関(歯科を含む)の受診で困ることはありますか。(いくつでも○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病
1 かかりつけ医(日常的に健康について相談できる医療機関)がない	9.9%	7.3%	5.2%
2 かかりつけ歯科医(歯の健康や治療について相談できる歯科医)がない	9.9%	9.0%	5.8%
3 定期的な健康診断を受けられない	7.1%	8.5%	0.6%
4 定期的な歯科健診を受けられない	5.5%	6.2%	2.3%
5 専門的な治療やリハビリを行う医療機関が身近にない	5.5%	6.8%	4.1%
6 障害を理由に診療や健診などを断られたことがある	2.2%	1.7%	0.6%
7 通院するときに介助してくれる人がいない	3.8%	5.1%	1.7%
8 医療費や交通費の負担が大きい	9.9%	18.6%	20.3%
9 医師・歯科医師とコミュニケーションがとりづらい	13.7%	9.0%	2.3%
10 その他(具体的に: )	6.6%	10.7%	4.7%
11 特にない	51.6%	44.6%	55.2%
無回答	13.2%	13.6%	11.6%

問11 今後、どのように生活したいですか。(1つに○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病
1 親や兄弟などの家族と一緒に生活する	34.6%	23.2%	25.6%
2 ひとり暮らし、または自分の配偶者と一緒に生活する	18.1%	48.6%	50.0%
3 グループホームで生活する	19.2%	1.1%	2.3%
4 入所施設で生活する	5.5%	1.1%	1.2%
5 その他(具体的に: )	1.6%	6.8%	1.2%
6 わからない	19.8%	15.3%	14.5%
無回答	1.1%	4.0%	5.2%

### 3 市民同士の支え合いについておたずねします

問12 近年、さまざまな主体による地域活動が行われています。あなたが参加しやすい活動は何ですか。(いくつでも○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病
1 同じ地域に住んでいる人達の活動(自治会・地区協議会・老人クラブ・マンション管理組合など)	3.8%	7.3%	15.7%
2 同じ趣味・志向をもつ人達の活動(趣味の同好会・教室・子育てサークルなど)	18.1%	26.6%	33.7%
3 同じ障害や病気の人達の活動(当事者団体・家族会、障害者施設や病院でのサークルなど)	30.2%	31.6%	10.5%
4 その他(具体的に: )	1.6%	2.3%	3.5%
5 わからない、関心がない	46.7%	44.6%	42.4%
無回答	6.6%	6.2%	9.3%

問13 あなたは今後、地域活動・ボランティア活動に取り組みたいですか。(1つに○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病
1 積極的に、取り組んでいきたい	2.7%	0.6%	2.9%
2 できるだけ、取り組んでいきたい	8.2%	8.5%	8.1%
3 機会があれば、取り組んでもよい	27.5%	30.5%	39.5%
4 取り組みたいが、できない	17.6%	16.9%	19.2%
5 あまり取り組みたくない	39.0%	38.4%	23.3%
無回答	4.9%	5.1%	7.0%

## 4 災害時の対策についておたずねします

問14 防災マップや洪水ハザードマップなどで避難場所・避難経路・警戒区域などを確認していますか。(1つに○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病		知的	精神	難病
1 確認している	45.6%	45.8%	74.4%	無回答	3.8%	6.8%	4.7%
2 確認していない	50.5%	47.5%	20.9%				

問15 災害や火災などの緊急の際、避難情報を主にどこからとりますか。(1つに○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病
1 防災行政無線	6.6%	9.0%	12.2%
2 調布市防災・安全情報メール	19.2%	10.7%	22.7%
3 調布FM	2.7%	2.3%	2.9%
4 市ホームページ	2.7%	11.3%	9.3%
5 ケーブルテレビ	7.7%	5.1%	4.7%
6 SNS(※)(市の公式アカウントを含む)	16.5%	23.2%	21.5%
7 その他(具体的に: )	3.8%	6.8%	4.1%
8 わからない	36.3%	25.4%	13.4%
無回答	4.4%	6.2%	9.3%

※SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) とは、登録された利用者同士が交流できる、コンピュータやスマートフォンなどを使用したインターネット上のサービス(例:ライン・ツイッター・フェイスブックなど)。

## 5 暮らしについておたずねします

問16 現在、給料や工賃を伴う仕事をしていますか。(1つに○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病
1 正規の社員・職員・役員	15.9%	7.9%	30.2%
2 非正規の社員・職員(嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣)	28.6%	22.0%	13.4%
3 自由業・自営業(家業手伝いを含む)	0.0%	4.0%	2.9%
4 障害者施設(作業所など)	41.8%	13.6%	0.6%
5 仕事をしていたが、現在は仕事をしていない	6.0%	41.8%	43.6%
6 これまで仕事をしたことがない(学生を含む)	6.0%	6.8%	2.9%
無回答	1.6%	4.0%	6.4%

問17 職場や学校の人に、あなたの障害や病気のことを伝えてありますか。(1つに○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病		知的	精神	難病
1 伝えている	81.9%	53.7%	50.0%	無回答	8.8%	15.8%	26.2%
2 伝えていない	9.3%	30.5%	23.8%				

問18 あなたは、どのような形で働きたい(続けたい)ですか。(1つに○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病
1 正規の社員・職員・役員	26.4%	30.5%	33.1%
2 非正規の社員・職員(嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣)	21.4%	16.4%	16.3%
3 自由業・自営業(家業手伝いを含む)	3.3%	9.0%	5.2%
4 障害者施設(作業所など)	36.8%	11.9%	1.2%
5 働きたいと思わない	2.7%	7.9%	13.4%
6 働くことができない	6.0%	18.6%	20.3%
無回答	3.3%	5.6%	10.5%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問19 あなたが仕事をするために、必要なことはありますか。(いくつでも○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病
1 技術, 知識, 資格などの習得	15.9%	34.5%	20.9%
2 病気や障害に応じた柔軟な勤務日, 勤務時間の設定	30.8%	48.6%	30.8%
3 病気や障害に応じた多様な働き方(在宅ワークなど)	11.0%	40.1%	19.8%
4 雇用する会社の施設面でのバリアフリー	4.9%	5.6%	1.2%
5 雇用する会社の相談体制や上司・同僚の病気や障害への理解, 協力	35.7%	43.5%	13.4%
6 通勤や勤務中の介助や支援	12.6%	10.2%	5.8%
7 就職支援や就職後の仕事の悩みなどを相談できる窓口	25.8%	33.9%	7.0%
8 職場実習など, 就職前に試しに働く機会の拡大	12.6%	23.2%	2.3%
9 その他(具体的に: )	1.6%	8.5%	1.7%
10 特に必要ない	22.0%	13.6%	29.7%
無回答	11.0%	13.6%	19.8%

問20 普段の生活の中で、次のような機会がありますか。(それぞれ1つに○)

知的(N=182)	十分にある	十分ではない	機会はあるが、 十分ではない	機会がない	必要な できない	無回答
ア 好きなところへ出かける(ヘルパー利用も含む)	44.5%	28.0%	9.3%	11.0%	7.1%	
イ 友人・知人との交流	21.4%	26.9%	23.1%	19.2%	9.3%	
ウ スポーツ・運動(※1)をする機会	18.7%	30.2%	23.6%	18.1%	9.3%	
エ 美術・音楽などの文化芸術活動(※2)の機会	11.0%	23.6%	31.3%	23.6%	10.4%	
オ ウ, エ以外の趣味や習いごと	13.7%	14.3%	34.1%	28.6%	9.3%	

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

精神(N=177)	十分にある	十分ではない 機会はあるが、	機会がない	必要ない できない	無回答
ア 好きなどころへ出かける(ヘルパー 利用も含む)	39.5%	28.2%	12.4%	11.3%	8.5%
イ 友人・知人との交流	18.1%	32.2%	25.4%	14.7%	9.6%
ウ スポーツ・運動(※1)をする機会	9.0%	34.5%	28.8%	18.1%	9.6%
エ 美術・音楽などの文化芸術活動(※ 2)の機会	10.2%	31.6%	28.2%	20.3%	9.6%
オ ウ,エ以外の趣味や習いごと	12.4%	20.9%	35.0%	22.0%	9.6%

難病(N=172)	十分にある	十分ではない 機会はあるが、	機会がない	必要ない できない	無回答
ア 好きなどころへ出かける(ヘルパー 利用も含む)	55.2%	22.1%	4.7%	9.3%	8.7%
イ 友人・知人との交流	43.0%	28.5%	9.9%	10.5%	8.1%
ウ スポーツ・運動(※1)をする機会	26.7%	22.1%	23.8%	19.2%	8.1%
エ 美術・音楽などの文化芸術活動(※ 2)の機会	25.6%	24.4%	23.3%	15.1%	11.6%
オ ウ,エ以外の趣味や習いごと	26.7%	20.3%	21.5%	18.6%	12.8%

※1 ここでの「スポーツ・運動」とは、ウォーキング、体操、ヨガなど、競技だけでなく健康づくりのための活動も含みます。これ以降の質問についても同じです。

※2 ここでの「文化芸術活動」とは、絵を描くこと、美術館・博物館などに行くこと、歌を歌ったり、演奏したりすることを含みます。

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問21 スポーツ・運動をする機会はどのくらいありますか。(1つに○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病		知的	精神	難病
1 週に2回以上	15.9%	15.3%	20.3%	3月に 1,2回程度	10.4%	10.7%	12.2%
2 週に1回程度	18.7%	11.9%	18.0%	4ほとんど しない	48.9%	58.8%	47.1%
				無回答	6.0%	3.4%	2.3%

問22 スポーツ・運動をどこでしたいですか。(いくつでも○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病
1 地域の体育館	21.4%	16.9%	22.1%
2 民間のスポーツクラブ	15.4%	19.8%	19.8%
3 通所先の施設(作業所など)	28.6%	10.2%	3.5%
4 地域の公園や広場	23.1%	20.9%	20.9%
5 自宅	18.7%	36.7%	30.8%
6 その他(具体的に: )	6.6%	9.6%	6.4%
7 しない, できない	21.4%	22.0%	23.3%
無回答	5.5%	6.2%	9.3%

問23 スポーツ・運動をするために必要な支援は何ですか。(いくつでも○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病
1 活動できる場所	44.0%	35.6%	39.0%
2 指導者	32.4%	20.9%	18.0%
3 障害に応じた器具・用具	9.3%	7.3%	4.1%
4 障害に応じたプログラムの充実や情報提供	29.7%	15.8%	8.7%
5 活動場所までの移動手段	19.2%	9.0%	12.8%
6 活動を介助・サポートしてくれる支援者	30.8%	13.0%	10.5%
7 一緒に活動する仲間	34.6%	32.8%	20.3%
8 その他(具体的に: )	3.3%	9.0%	4.1%
9 スポーツ・運動はしない, できない	18.7%	18.6%	22.7%
無回答	6.6%	14.1%	15.1%



調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問24 コロナ禍によってあなたの暮らしに影響はありましたか。(それぞれ1つに○)

知的(N=182)	増えた	変化なし	減った	事柄が該当しない ・わからない	無回答
ア 人と直接会って話す機会の頻度	3.3%	29.1%	41.8%	19.2%	6.6%
イ 人と電話やラインなどで話す頻度	9.3%	37.9%	12.6%	29.7%	10.4%
ウ ホームヘルパー(家事や自宅での介護)の利用回数	0.0%	12.1%	6.0%	69.8%	12.1%
エ 障害者施設(作業所など)への通所回数	3.3%	36.8%	16.5%	34.1%	9.3%
オ ショートステイ(短期入所)の利用回数	2.7%	15.4%	8.8%	62.1%	11.0%
カ 仕事や通所以外での外出回数(ガイドヘルパーの利用を含む)	4.4%	25.3%	34.1%	26.9%	9.3%
キ 仕事(会社に行く)の日数や収入	5.5%	46.2%	19.2%	17.6%	11.5%
ク スポーツ・運動などで体を動かす時間	5.5%	31.3%	33.0%	22.0%	8.2%
ケ 趣味や好きなことをする時間	12.6%	39.6%	19.2%	21.4%	7.1%

精神(N=177)	増えた	変化なし	減った	事柄が該当しない ・わからない	無回答
ア 人と直接会って話す機会の頻度	4.5%	23.2%	55.9%	7.3%	9.0%
イ 人と電話やラインなどで話す頻度	17.5%	40.1%	23.7%	9.6%	9.0%
ウ ホームヘルパー(家事や自宅での介護)の利用回数	1.1%	18.1%	1.7%	68.4%	10.7%
エ 障害者施設(作業所など)への通所回数	5.6%	16.4%	14.1%	53.1%	10.7%
オ ショートステイ(短期入所)の利用回数	0.0%	7.9%	2.8%	77.4%	11.9%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

精神(N=177)	増 えた	変 化 な し	減 つ た	事 柄 が 該 当 し な い ・ わ か ら な い	無 回 答
カ 仕事や通所以外での外出回数(ガイドヘルパーの利用を含む)	1.1%	24.9%	40.1%	23.2%	10.7%
キ 仕事(会社に行く)の日数や収入	4.0%	22.6%	21.5%	41.2%	10.7%
ク スポーツ・運動などで体を動かす時間	5.6%	28.2%	33.3%	23.2%	9.6%
ケ 趣味や好きなことをする時間	14.1%	39.5%	25.4%	11.3%	9.6%

難病(N=172)	増 えた	変 化 な し	減 つ た	事 柄 が 該 当 し な い ・ わ か ら な い	無 回 答
ア 人と直接会って話す機会の頻度	0.0%	25.6%	62.2%	7.0%	5.2%
イ 人と電話やラインなどで話す頻度	13.4%	52.9%	22.1%	6.4%	5.2%
ウ ホームヘルパー(家事や自宅での介護)の利用回数	1.7%	8.7%	0.0%	75.0%	14.5%
エ 障害者施設(作業所など)への通所回数	0.0%	7.0%	0.0%	77.3%	15.7%
オ ショートステイ(短期入所)の利用回数	0.6%	5.2%	0.0%	77.9%	16.3%
カ 仕事や通所以外での外出回数(ガイドヘルパーの利用を含む)	0.6%	20.9%	31.4%	35.5%	11.6%
キ 仕事(会社に行く)の日数や収入	0.6%	32.0%	14.0%	40.1%	13.4%
ク スポーツ・運動などで体を動かす時間	6.4%	34.3%	31.4%	19.2%	8.7%
ケ 趣味や好きなことをする時間	9.9%	40.7%	27.3%	13.4%	8.7%

## 6 誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします

問25 調布のまちは、障害(身体障害、知的障害、精神障害、難病など)のある人にとって、福祉サービス、バリアフリー、市民意識などを総合的に考え、住みやすいまちであると感じますか。(1つに○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病
1 住みやすいと思う	29.7%	19.2%	18.6%
2 どちらかといえば、住みやすいと思う	52.2%	52.0%	61.0%
3 どちらかといえば、住みやすいと思わない	7.1%	15.3%	11.6%
4 住みやすいと思わない	6.6%	8.5%	5.8%
無回答	4.4%	5.1%	2.9%

問26 市内のバリアフリーについて、どのように感じていますか。(それぞれ1つに○)

知的(N=182)	充実している とても	充実している	充実していない あまり	充実していない	わからない	無回答
ア 車いすの人や誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす、幅を広げるなど)	3.8%	19.2%	24.2%	7.7%	28.6%	16.5%
イ 公共施設や病院などのスロープ、エレベーターやエスカレーター	7.1%	32.4%	17.0%	3.8%	26.4%	13.2%
ウ 車いすの人や乳幼児を連れた人、介助者の同伴が必要な人など、誰もが使いやすいトイレ	7.1%	21.4%	22.5%	6.6%	27.5%	14.8%
エ 歩きやすいように障害物(商品や看板、放置自転車、電柱など)が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路	4.4%	14.8%	29.1%	17.6%	20.9%	13.2%
オ 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	7.7%	15.9%	19.2%	8.2%	34.6%	14.3%
カ 車いすやベビーカーで乗降しやすい超低床バスやリフト付バス	7.7%	14.3%	15.4%	8.2%	40.1%	14.3%
キ 車いす使用者等用の駐車場	5.5%	13.7%	12.6%	9.3%	44.0%	14.8%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

知的(N=182)	充実している とても	充実している	充実していない あまり	充実していない	わからない	無回答
ク 誰もがわかりやすいデザイン(文字の大きさ・種類・色・イラストなど)及び位置における, 多言語を用いた案内表示	5.5%	13.7%	17.0%	8.2%	42.3%	13.2%
ケ 手話への対応や音声ガイドがある施設	4.4%	6.6%	17.0%	8.8%	50.0%	13.2%
コ 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	3.3%	7.7%	15.9%	10.4%	48.4%	14.3%
サ 公園・道路などを含む, まち全体のユニバーサルデザイン(※)	3.8%	11.0%	18.7%	6.6%	46.2%	13.7%
シ 高齢者, 子ども連れの家族, 障害や病気などがある人に対する人々の接し方や配慮	1.6%	17.0%	23.6%	11.0%	32.4%	14.3%

精神(N=177)	充実している とても	充実している	充実していない あまり	充実していない	わからない	無回答
ア 車いすの人や誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす, 幅を広げるなど)	2.3%	20.3%	23.2%	9.0%	37.9%	7.3%
イ 公共施設や病院などのスロープ, エレベーターやエスカレーター	3.4%	34.5%	11.9%	7.9%	33.9%	8.5%
ウ 車いすの人や乳幼児を連れた人, 介助者の同伴が必要な人など, 誰もが使いやすいトイレ	3.4%	23.7%	23.2%	6.8%	34.5%	8.5%
エ ある歩きやすいように障害物(商品や看板, 放置自転車, 電柱など)が取り除かれ, 段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路	2.3%	11.3%	29.9%	19.2%	27.7%	9.6%
オ 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	2.8%	19.8%	18.6%	7.3%	42.9%	8.5%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

精神(N=177)	充実している とても	充実している	充実していない あまり	充実していない	わからない	無回答
カ 車いすやベビーカーで乗降しやすい超低床バスやリフト付バス	4.5%	19.2%	16.9%	6.8%	44.1%	8.5%
キ 車いす使用者等用の駐車場	1.1%	13.6%	16.4%	7.3%	52.5%	9.0%
ク 誰もがわかりやすいデザイン(文字の大きさ・種類・色・イラストなど)及び位置における,多言語を用いた案内表示	2.3%	19.2%	20.9%	5.6%	44.1%	7.9%
ケ 手話への対応や音声ガイドがある施設	0.6%	7.9%	18.1%	7.3%	57.1%	9.0%
コ 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	0.6%	6.8%	15.3%	12.4%	54.8%	10.2%
サ 公園・道路などを含む,まち全体のユニバーサルデザイン(※)	2.3%	12.4%	21.5%	9.6%	44.6%	9.6%
シ 高齢者,子ども連れの家族,障害や病気などがある人に対する人々の接し方や配慮	3.4%	14.1%	22.0%	14.7%	36.2%	9.6%

難病(N=172)	充実している とても	充実している	充実していない あまり	充実していない	わからない	無回答
ア 車いすの人や誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす,幅を広げるなど)	0.6%	14.5%	30.8%	14.0%	30.2%	9.9%
イ 公共施設や病院などのスロープ,エレベーターやエスカレーター	1.7%	33.1%	22.1%	7.6%	25.0%	10.5%
ウ 車いすの人や乳幼児を連れて来た人,介助者の同伴が必要な人など,誰もが使いやすいトイレ	1.2%	22.7%	28.5%	8.7%	29.1%	9.9%
エ 歩きやすいように障害物(商品や看板,放置自転車,電柱など)が取り除かれ,段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路	0.6%	12.8%	33.1%	20.9%	22.7%	9.9%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

難病(N=172)	充実している とても	充実している	充実していない あまり	充実していない	わからない	無回答
オ 点字ブロックや視覚障害者用の 信号機	1.7%	20.9%	23.3%	6.4%	36.0%	11.6%
カ 車いすやベビーカーで乗降しやすい 超低床バスやリフト付バス	1.2%	21.5%	19.8%	8.1%	38.4%	11.0%
キ 車いす使用者等用の駐車場	2.3%	17.4%	15.7%	4.7%	48.3%	11.6%
ク 誰もがわかりやすいデザイン(文字 の大きさ・種類・色・イラストなど) 及び位置における、多言語を用いた案内表示	1.7%	11.0%	24.4%	5.2%	47.1%	10.5%
ケ 手話への対応や音声ガイドがある 施設	1.2%	4.7%	15.1%	9.3%	58.1%	11.6%
コ 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	1.2%	2.3%	17.4%	9.9%	57.0%	12.2%
サ 公園・道路などを含む、まち全体の ユニバーサルデザイン(※)	1.7%	10.5%	21.5%	11.6%	43.0%	11.6%
シ 高齢者、子ども連れの家族、障害 や病気などがある人に対する人々の 接し方や配慮	1.2%	16.9%	22.1%	13.4%	36.0%	10.5%

※ ユニバーサルデザインとは、道路・住宅・製品などを設計・製造する場合に、障害のある人用という区分けをなくし、誰もが使えるものを作るという考え方。

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問27 誰もが暮らしやすいまちづくりに向けて、病気・障害・国籍・生活習慣などの違いによる心理的な障壁を取り除く(心のバリアフリー)ために、特に必要な取組は何だと思いますか。(2つまで○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病
1 学校における、お互いを理解し、思いやる心を育てるための教育や、障害者などさまざまな人と触れ合う機会の充実	44.0%	49.7%	48.3%
2 意識啓発のための研修・講演会の開催	9.9%	18.1%	9.3%
3 障害者や外国人など、さまざまな住民が交流する機会を増やす	24.7%	23.2%	24.4%
4 わかりやすい情報発信	29.7%	40.7%	41.9%
5 その他(具体的に: )	1.6%	5.6%	2.9%
6 わからない	25.3%	13.0%	12.8%
無回答	12.1%	7.3%	11.0%

問28 お互いにその人らしさを認め合い、ともに生きる社会をめざす法律や取組をご存知ですか。(それぞれ1つに○)

知的(N=182)	内容を知っている	(内容は知らない)	知らない	無回答	説明
ア 障害者差別解消法	9.9%	24.7%	52.7%	12.6%	障害を理由とする差別の解消を推進することを目的とする法律(平成28年4月1日施行)
イ 合理的配慮	8.2%	18.1%	60.4%	13.2%	役所や事業者に対し、障害者から社会の中にあるバリア(生活がしづらくなる社会的障壁)を取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられた時に、負担が重すぎない範囲で対応すること。

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

精神(N=177)	内容を 知っている	聞いたことはある (内容は知らない)	知らない	無回答	説明
ア 障害者差別 解消法	10.2%	31.1%	52.5%	6.2%	障害を理由とする差別の解消を 推進することを目的とする法律(平成 28年4月1日施行)
イ 合理的配慮	11.3%	27.1%	53.7%	7.9%	役所や事業者に対し、障害者から 社会の中にあるバリア(生活がしづら くなる社会的障壁)を取り除くために何 らかの対応を必要としているとの意思 が伝えられた時に、負担が重すぎない 範囲で対応すること。

難病(N=172)	内容を 知っている	聞いたことはある (内容は知らない)	知らない	無回答	説明
ア 障害者差別 解消法	12.2%	23.8%	55.2%	8.7%	障害を理由とする差別の解消を 推進することを目的とする法律(平成 28年4月1日施行)
イ 合理的配慮	9.9%	25.6%	55.8%	8.7%	役所や事業者に対し、障害者から 社会の中にあるバリア(生活がしづら くなる社会的障壁)を取り除くために何 らかの対応を必要としているとの意思 が伝えられた時に、負担が重すぎない 範囲で対応すること。



調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問29 普段の暮らしや外出のとき、障害や病気への差別や偏見、配慮のなさを感じる場面はありますか。(いくつでも○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病
1 教育の機会	15.9%	10.2%	5.8%
2 仕事や収入	29.7%	37.9%	11.6%
3 近所付き合いや地域の行事・活動	15.4%	11.9%	4.7%
4 店での扱いや店員の対応・態度	14.8%	13.0%	6.4%
5 まちなかでの人の視線	32.4%	17.5%	9.3%
6 交通機関や建物のつくりの配慮	11.0%	15.3%	19.8%
7 行政職員の対応・態度	8.2%	8.5%	5.8%
8 その他(具体的に: )	1.6%	6.8%	2.9%
9 特に感じない	29.7%	29.4%	47.7%
無回答	13.7%	11.9%	17.4%

問30 あなたは、調布市が配布しているヘルプカード(※)、ヘルプマーク(※)をもっていますか。(それぞれ1つに○)

	知的(N=182)	
①ヘルプカード	1 もっていて、いつも、もち歩いている	19.8%
	2 もっているが、もち歩いていない	27.5%
	3 もっていないが、ほしいと思う	11.5%
	4 もっていないし、必要ない	26.9%
	無回答	14.3%
②ヘルプマーク	1 もっていて、いつも、もち歩いている	12.6%
	2 もっているが、もち歩いていない	15.9%
	3 もっていないが、ほしいと思う	20.9%
	4 もっていないし、必要ない	32.4%
	無回答	18.1%

	精神(N=177)	
①ヘルプカード	1 もっていて、いつも、もち歩いている	11.9%
	2 もっているが、もち歩いていない	25.4%
	3 もっていないが、ほしいと思う	17.5%
	4 もっていないし、必要ない	36.7%
	無回答	8.5%
②ヘルプマーク	1 もっていて、いつも、もち歩いている	10.2%
	2 もっているが、もち歩いていない	14.1%
	3 もっていないが、ほしいと思う	19.2%
	4 もっていないし、必要ない	42.4%
	無回答	14.1%

	難病(N=172)	
①ヘルプカード	1 もっていて、いつも、もち歩いている	4.1%
	2 もっているが、もち歩いていない	2.3%
	3 もっていないが、ほしいと思う	15.1%
	4 もっていないし、必要ない	66.3%
	無回答	12.2%
②ヘルプマーク	1 もっていて、いつも、もち歩いている	7.6%
	2 もっているが、もち歩いていない	2.3%
	3 もっていないが、ほしいと思う	16.3%
	4 もっていないし、必要ない	62.8%
	無回答	11.0%

※ヘルプカードは、障害のある人が緊急連絡先、医療情報、手伝ってほしい内容などを記載して、普段から身に付けておくことで、緊急時や災害時、日常の困ったときに、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするものです。障害福祉課の窓口で配布しています。これとは別に、障害のある人に限らず、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている人のために「ヘルプマーク」もあります。



ヘルプカード



ヘルプマーク

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問31 ヘルプカードやヘルプマークをもっていることで、周囲の人に配慮してもらったり、手助けを  
してもらったりしたことがありますか。(1つに○)

知的(n=36) 精神(n=21) 難病(n=7)

		知的	精神	難病
①ヘルプカード	1 ある	25.0%	42.9%	14.3%
	2 ない	58.3%	42.9%	85.7%
	3 もっていない・わからない	13.9%	4.8%	0.0%
	無回答	2.8%	9.5%	0.0%

知的(n=23) 精神(n=18) 難病(n=13)

		知的	精神	難病
②ヘルプマーク	1 ある	52.2%	72.2%	30.8%
	2 ない	30.4%	22.2%	69.2%
	3 もっていない・わからない	17.4%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	5.6%	0.0%

## 7 デジタルの活用についておたずねします

問32 調布市の保健福祉施策(サービス)に関する情報をどこから入手していますか。  
(いくつでも○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病
1 市のホームページ	13.7%	26.0%	37.2%
2 市の広報紙・チラシ	36.3%	45.8%	49.4%
3 市役所・相談機関などの窓口	11.0%	27.1%	7.0%
4 テレビ(ケーブルテレビを含む)・ラジオ	4.9%	5.6%	4.1%
5 家族、友人・知人からの口コミ	22.5%	11.9%	9.3%
6 SNS	4.9%	6.8%	10.5%
7 その他(具体的に: )	2.2%	4.5%	0.6%
8 特になし、情報は入手していない	29.1%	22.6%	17.4%
無回答	12.1%	6.2%	7.6%

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問33 普段、スマートフォンなどの情報端末やパソコンなどを使っていますか。(1つに○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病		知的	精神	難病
1 使っている	54.4%	74.0%	74.4%	無回答	7.7%	5.6%	6.4%
2 使っていない	37.9%	20.3%	19.2%				

問34 市や社会福祉協議会の講座やイベントがオンラインで開催されたら、参加しやすくなりますか。(1つに○)

知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病		知的	精神	難病
1 参加しやすくなる	11.5%	30.5%	27.3%	3 参加しづらくなる	14.8%	6.8%	3.5%
2 変わらない	57.1%	52.5%	53.5%	無回答	16.5%	10.2%	15.7%

問35 あなたがスマートフォンなどの情報端末やパソコンなどを使っていたいこと、暮らしの利便性を高めるアイデアがございましたら、教えてください。(自由記述)

## 8 調布市の障害者福祉施策についておたずねします

問36 あなたは次の調布市の相談窓口や制度を知っていますか。(それぞれ1つに○)

知的(N=182)	知っている	知らない	無回答	説明
ア ドルチェ	11.5%	69.8%	18.7%	主に身体障害、高次脳機能障害のある人の相談窓口です。
イ ちょうふだぞう	83.5%	4.9%	11.5%	主に知的障害のある人の相談窓口です。
ウ 希望ヶ丘	10.4%	70.9%	18.7%	主に精神障害のある人の相談窓口です。
エ こころの健康支援センター	32.4%	48.9%	18.7%	主に精神障害、発達障害のある人の相談窓口です。
オ 難病相談窓口(障害福祉課・予約制)	6.6%	74.7%	18.7%	難病にかかったことでの不安や悩みごと全般に対する相談窓口です。

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

知的(N=182)	知っている	知らない	無回答	説明
カ 障害者虐待防止センター (障害福祉課)	17.0%	64.8%	18.1%	障害者の虐待に関する相談・通報を受ける窓口です。
キ 地域福祉コーディネーター	17.0%	64.8%	18.1%	「困ったことがあるけど、どこに相談したらいいのかわからない」ときなど、福祉のことならなんでも相談できる窓口です。
ク 成年後見制度	33.5%	49.5%	17.0%	判断能力が不十分であるために意思決定が困難な人の判断能力を後見人などが補っていただくことによって、法的に保護する制度です。

精神(N=177)	知っている	知らない	無回答	説明
ア ドルチェ	11.9%	70.1%	18.1%	主に身体障害、高次脳機能障害のある人の相談窓口です。
イ ちょうふだぞう	24.3%	59.9%	15.8%	主に知的障害のある人の相談窓口です。
ウ 希望ヶ丘	11.9%	70.1%	18.1%	主に精神障害のある人の相談窓口です。
エ こころの健康支援センター	42.4%	42.4%	15.3%	主に精神障害、発達障害のある人の相談窓口です。
オ 難病相談窓口 (障害福祉課・予約制)	5.1%	76.8%	18.1%	難病にかかったことでの不安や悩みごと全般に対する相談窓口です。
カ 障害者虐待防止センター (障害福祉課)	8.5%	74.0%	17.5%	障害者の虐待に関する相談・通報を受ける窓口です。
キ 地域福祉コーディネーター	10.7%	71.8%	17.5%	「困ったことがあるけど、どこに相談したらいいのかわからない」ときなど、福祉のことならなんでも相談できる窓口です。
ク 成年後見制度	34.5%	48.0%	17.5%	判断能力が不十分であるために意思決定が困難な人の判断能力を後見人などが補っていただくことによって、法的に保護する制度です。

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

難病(N=172)	知っている	知らない	無回答	説明
ア ドルチェ	7.0%	86.0%	7.0%	主に身体障害、高次脳機能障害のある人の相談窓口です。
イ ちょうふだぞう	16.9%	76.2%	7.0%	主に知的障害のある人の相談窓口です。
ウ きぼうがおか 希望ヶ丘	4.7%	87.8%	7.6%	主に精神障害のある人の相談窓口です。
エ こころの健康 支援センター	18.6%	73.3%	8.1%	主に精神障害、発達障害のある人の相談窓口です。
オ 難病相談窓口 (障害福祉課・予約制)	44.2%	48.3%	7.6%	難病にかかったことでの不安や悩みごと全般に対する相談窓口です。
カ 障害者虐待防止センター (障害福祉課)	13.4%	79.1%	7.6%	障害者の虐待に関する相談・通報を受ける窓口です。
キ 地域福祉コーディネーター	20.9%	72.7%	6.4%	「困ったことがあるけど、どこに相談したらいいのかわからない」ときなど、福祉のことならなんでも相談できる窓口です。
ク 成年後見制度	36.0%	56.4%	7.6%	判断能力が不十分であるために意思決定が困難な人の判断能力を後見人などが補っていき、法的に保護する制度です。

調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問37 調布市の障害者福祉施策(サービス)をより充実していくために、特に重要と考える取組は  
何ですか。(いくつでも○) 知的(N=182) 精神(N=177) 難病(N=172)

	知的	精神	難病
1 困ったことや福祉サービスの利用などを気軽に相談できる窓口	51.6%	61.0%	55.2%
2 健康づくりや地域での医療サービス	17.6%	28.8%	21.5%
3 手当や医療費の助成などの経済的な支援	34.6%	50.8%	50.0%
4 成年後見制度など、金銭・財産などの管理の支援	29.7%	19.8%	10.5%
5 ホームヘルプなど、在宅生活を支援するサービス	20.9%	26.6%	15.7%
6 ガイドヘルパー、コミュニケーション支援など、社会参加の支援	17.0%	17.5%	8.1%
7 介助者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ	32.4%	20.3%	22.1%
8 日中の活動場所(作業所などの障害者施設)の整備	28.6%	23.2%	5.2%
9 企業などで働くための支援(就労支援)	22.0%	37.9%	18.0%
10 仕事以外の趣味や余暇活動・スポーツ活動などの支援や場所の整備	26.9%	28.8%	14.5%
11 グループホームなど、地域における住まいの場の整備	37.9%	16.9%	9.3%
12 障害理解の促進や差別の解消	27.5%	38.4%	11.6%
13 公共施設や道路、交通機関などのバリアフリー	18.7%	24.3%	27.3%
14 障害に応じた多様な情報提供の充実	23.6%	38.4%	20.9%
15 災害時の支援体制の整備	30.8%	30.5%	28.5%
16 その他(具体的に: )	0.5%	5.6%	2.3%
無回答	18.7%	16.4%	12.2%

問38 市民同士がお互いに支え合い、住み慣れたまちで誰もが安心して暮らすまちづくりの取組について、ご意見、ご提案をお聞かせください。(自由記述)

ア 地域活動、市民同士の支え合い	
イ 相談、サービス	
ウ 安全・安心	
エ 上記以外	

## 9 主に本人の介助や支援をしているご家族におたずねします

(ひとり暮らし、グループホームなどの人は回答不要です)

問39 ご本人を主に介助や支援をしているご家族におたずねします(ご家族以外は回答不要)。

主に介助や支援をしている人の年齢を教えてください。(1つに○)

知的(n=139) 精神(n=89) 難病(n=66)

	知的	精神	難病
1 10歳代	1.4%	1.1%	0.0%
2 20歳代	2.9%	2.2%	3.0%
3 30歳代	1.4%	10.1%	7.6%
4 40歳代	5.0%	9.0%	16.7%
5 50歳代	33.8%	21.3%	18.2%
6 60歳代	31.7%	18.0%	16.7%
7 70歳代	16.5%	23.6%	18.2%
8 80歳以上	7.2%	14.6%	19.7%

問40 あなたを主に介助や支援をしているご家族におたずねします(ご家族以外は回答不要)。

介助や支援にあたってどのような不安や困りごとがありますか。(いくつでも○)

知的(n=139) 精神(n=89) 難病(n=66)

	知的	精神	難病
1 障害や病気のことがよくわからない	1.4%	19.1%	16.7%
2 適切な介助・支援の方法がわからない	5.8%	21.3%	15.2%
3 自分の時間がもてない(余暇・外出・休養など)	18.0%	19.1%	18.2%
4 自分の希望する仕事につくこと・続けることが難しい	11.5%	12.4%	6.1%
5 自分の学校・学業がおそろかになる	0.0%	0.0%	0.0%
6 介助・支援をする家族自身の高齢化	58.3%	48.3%	24.2%
7 介助・支援をする家族自身も病気や障害がある	13.7%	29.2%	16.7%
8 本人のほかにも介助・支援が必要な家族がいる	14.4%	15.7%	3.0%
9 何かあったときに本人の介助・支援を頼める人(場所)がない	36.7%	31.5%	22.7%
10 相談できる場所がない	5.8%	15.7%	3.0%



調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

	知的	精神	難病
11 障害のある当事者、家族同士の情報交換、交流の機会がない	15.1%	14.6%	1.5%
12 経済的な負担が大きい	12.2%	33.7%	16.7%
13 その他(具体的に: )	4.3%	6.7%	1.5%
14 特にな	16.5%	11.2%	24.2%
無回答	1.4%	9.0%	9.1%

問41 あなたを主に介助や支援をしているご家族におたずねします(ご家族以外は回答不要)。介助する人への支援として力を入れてほしいことは何ですか。(いくつでも○)

知的(n=139) 精神(n=89) 難病(n=66)

	知的	精神	難病
1 介助者同士が交流したり、話し合える場を作ってく	14.4%	12.4%	7.6%
2 本人の介助や支援から離れる時間を作ってく	25.2%	22.5%	10.6%
3 家事や育児を手伝ってくれること	4.3%	27.0%	12.1%
4 介助や支援の状況に柔軟に対応してくれる職場環境や働き方の普及	26.6%	25.8%	15.2%
5 支援制度や福祉サービスなどの情報提供・相談窓口の充実	54.7%	51.7%	45.5%
6 その他(具体的に: )	7.9%	6.7%	3.0%
無回答	21.6%	21.3%	31.8%

アンケートは以上です。たくさんの方の質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。調査結果は市ホームページで公表し、図書館などで閲覧できます(令和5年4月頃の予定)。

## 子どもと保護者が暮らしやすいまちづくりのための 福祉に関するアンケート

～ご協力のお願～

皆さまの回答は、子どもと保護者が暮らしやすい、支え合うまちづくりに役立っています。

市民の皆さまには、日頃から市政発展のためにご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

市では、子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らしやすいまちづくりを一層進めるため、来年度に「地域福祉計画」「高齢者総合計画」「障害者総合計画」をそれぞれ策定いたします。

これらの計画に市民の皆さまの意見をいかすため、障害者手帳や児童福祉通所受給者証をもつお子さんの中から 200 人を無作為抽出したところ、あなたにアンケートをお願いすることになりました。

これからの福祉は市民が主役です。

例えば、地域の活動に参加したり、誰かが困っている時に声をかけたりすることも、支え合うまちづくりのひとつです。

市民の皆さまをはじめ、地域の団体や商店、学校や企業などの皆さまと一緒に、みんなで支え合うことがとても大切になります。



このアンケートは無記名です。回答は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。また、回答を調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和 4 年 10 月 調布市長 長友貴樹

～記入についてのお願い～

【回答期限】 令和4年10月31日(月)

【回答方法】 《郵送》または《インターネット》

(※どちらか一つの方法で、投函もしくは送信してください)

《郵送》調査票による回答の方法

- ①封筒のあて名のお子さんを主にサポートしている保護者がお答えください。
- ②回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は番号を○で囲み、( )に具体的な内容を記入してください。
- ③質問によっては、回答数や回答者が限られる場合があります。
- ④回答しづらい、わからない場合は無理をせず、次の問に進んでください。全ての質問に回答できなくても大丈夫です。
- ⑤回答終了後、同封の返信用封筒に入れて封かんし、回答期限までにポストに投函してください。

《インターネット》回答の方法

- ①以下のURL, またはQRコードから専用ウェブサイトアクセスしてください。
- ②調査票と同じ質問が画面に表示されます。
- ③回答には 30 分から1時間程度かかります。途中保存はできませんので、お時間に余裕のある時にご回答ください。

<専用ウェブサイトURL>

[https://questant.jp/q/city\\_chofu\\_fukushisgj](https://questant.jp/q/city_chofu_fukushisgj)



【調査についてのお問い合わせ先】

調布市 福祉健康部 障害福祉課

電話 042-481-7135・7089・7094(課直通)

Fax 042-481-4288

E-mail syougai@w2.city.chofu.tokyo.jp

## 1 保護者(調査に回答していただく人)についておたずねします

問1 あて名のお子さんからみて、保護者(回答者)はどなたですか。(1つに○) (N=130)

1 親	98.5%	3 祖父母	0.0%	5 その他	0.0%
2 兄弟姉妹	0.0%	4 その他の親族	0.0%	無回答	1.5%

問2 保護者の性別を教えてください。(1つに○) (N=130)

1 男性	13.8%	3 回答しない	1.5%
2 女性	83.1%	無回答	1.5%

問3 保護者の年齢を教えてください。(1つに○) (令和4年10月1日現在) (N=130)

1 10歳代	0.0%	6 60歳代	0.8%
2 20歳代	0.0%	7 70歳代	0.0%
3 30歳代	25.4%	8 80歳以上	0.0%
4 40歳代	50.0%	無回答	1.5%
5 50歳代	22.3%		

問4 お住いの地域を教えてください。(1つに○) (N=130)

1	緑ヶ丘・滝坂小学校地域	8.5%
2	若葉・調和小学校地域	8.5%
3	上ノ原・柏野小学校地域	13.1%
4	北ノ台・深大寺小学校地域	11.5%
5	第二・八雲台・国領小学校地域	14.6%
6	染地・杉森・布田小学校地域	9.2%
7	第一・富士見台・多摩川小学校地域	19.2%
8	第三・石原・飛田給小学校地域	13.8%
	無回答	1.5%

問5 あなた(保護者)は、ご自分の健康状態をどのように感じていますか。(1つに○)

(N=130)

1 よい	29.2%	4 どちらかといえばよくない	10.8%
2 どちらかといえばよい	7.7%	5 よくない	3.1%
3 ふつう	44.6%	無回答	4.6%

## 2 保護者の方に、あて名のお子さんについておたずねします

問6 あて名のお子さんの就学状況を教えてください。(1つに○) (N=130)

1 小学校就学前	31.5%	無回答	0.8%
2 小学校就学後	67.7%		

問7 あて名のお子さんの性別を教えてください。(1つに○) (N=130)

1 男性	79.2%	3 回答しない	0.8%
2 女性	19.2%	無回答	0.8%

問8 あて名のお子さんがおもちの手帳等とその等級を教えてください。(いくつでも○)

(N=130)

1 身体障害者手帳	19.2%
2 愛の手帳	33.1%
3 精神障害者保健福祉手帳	5.4%
4 特定医療費(指定難病)受給者証(難病医療証)または小児慢性特定疾病医療受給者証	8.5%
5 児童福祉通所受給者証・障害福祉サービス受給者証	63.8%
6 もっていない	0.8%
無回答	1.5%

身体障害者手帳 (n=25)	1 級	2 級	3 級		
	56.0%	20.0%	0.0%		
愛の手帳 (n=43)	4 級	5 級	6 級	無回答	
	12.0%	4.0%	0.0%	8.0%	
精神障害者保健福祉手帳 (n=7)	1 度	2 度	3 度	4 度	無回答
	0.0%	41.9%	27.9%	30.2%	0.0%
精神障害者保健福祉手帳 (n=7)	1 級	2 級	3 級	無回答	
	0.0%	28.6%	71.4%	0.0%	

問9 あて名のお子さんは、どのような病気や障害がありますか。(いくつでも○) ※特定医療費(指定難病)受給者証, 小児慢性特定疾病医療受給者証をもつ人は、「11 その他」の欄に病名をご記入ください。(N=130)

1 目が不自由(視覚障害)	1.5%
2 耳が不自由(聴覚障害・平衡機能障害)	0.8%
3 言葉が不自由(音声・言語・そしゃく障害)	12.3%
4 手足が不自由(上肢・下肢障害・体幹機能障害・運動機能障害)	13.1%
5 心臓, 腎臓, 肝臓, 呼吸器, ぼうこう, 直腸, 小腸などの障害(内部障害)	6.9%
6 免疫機能障害	0.8%
7 知的障害	38.5%
8 精神疾患・精神障害(発達障害を除く。)	2.3%
9 発達障害(自閉スペクトラム症, 学習症(LD), 注意欠如・多動症(ADHD)など)	57.7%
10 高次脳機能障害	0.8%
11 その他(具体的に: )	4.6%
無回答	3.1%

### ※問 10・問 11 は, 小学校就学後のお子さんについておたずねします

問10 あて名のお子さんが小学校就学後の保護者の方におたずねします。あて名のお子さんは、現在, 学校以外の時間でどのようなサービスや施設などを利用して過ごしていますか。(いくつでも○) (n=88)

1 学童クラブ・ユーフォー	22.7%
2 放課後等デイサービス事業所	77.3%
3 日中一時支援事業所	8.0%
4 児童館・青少年ステーション CAPS(中・高校生世代の「第三の居場所施設」)	1.1%
5 民間の習いごと・教室・フリースペースなど	26.1%
6 その他(具体的に: )	6.8%
7 特に何も利用していない	11.4%
無回答	2.3%

問11 あて名のお子さんが小学校就学後の保護者の方におたずねします。あて名のお子さんの放課後活動に求めていることはありますか。(いくつでも○) (n=88)

1 人との交流	69.3%	5 興味の幅を広げる	50.0%
2 学習の補助	33.0%	6 コミュニケーションの力をつける	69.3%
3 体を動かす	59.1%	7 ルールやマナーを身につける	48.9%
4 家族がいない間の見守り・預かり	40.9%	8 その他(具体的に: )	4.5%
		無回答	2.3%

## ※次の設問から全員におたずねします

問12 あて名のお子さんは、普段の生活の中で、次のような機会がありますか。(それぞれ 1 つに○)

(N=130)

	十分にある	十分ではない 機会はあるが、	機会がない	必要ない・できない	無回答
ア 好きなところへ出かける(ヘルパー利用も含む)	52.3%	33.8%	8.5%	4.6%	0.8%
イ 友人・知人との交流	23.1%	48.5%	23.1%	4.6%	0.8%
ウ スポーツ・運動をする※1機会	24.6%	53.1%	16.2%	5.4%	0.8%
エ 美術・音楽などの文化芸術活動※2の機会	17.7%	40.0%	34.6%	6.9%	0.8%
オ ウ,エ以外の趣味や習いごと	16.9%	25.4%	40.8%	14.6%	2.3%

※1 ここでの「スポーツ・運動」とは、ウォーキング、体操、ヨガなど、競技だけでなく健康づくりのための活動も含まれます。これ以降の質問についても同じです。

※2 ここでの「文化芸術活動」とは、絵を描くこと、美術館・博物館などに行くこと、歌を歌ったり、演奏したりすることを含みます。

問13 あて名のお子さんは、スポーツ・運動をする機会はどのくらいありますか。(1つに○)

(N=130)

1 週に2回以上	33.8%	3 月に1,2回程度	13.1%
2 週に1回程度	28.5%	4 ほとんどしない	23.8%
		無回答	0.8%

問14 あて名のお子さんの日常生活で不安や課題と感じていることはありますか。(いくつでも○)

(N=130)

(保育園・幼稚園・認定こども園・学校でのこと)	
1 子どもの障害について十分に理解されていない	21.5%
2 子どもの障害に応じた十分な支援を受けられていない	26.2%
3 同級生や友人・知人との人間関係	43.1%
4 保育・教育のことについて、相談できる場所がない	10.0%
(保育園・幼稚園・認定こども園・学校以外での活動のこと)	
5 障害の状況に応じた専門的な療育を受けられる場所・機会が少ない	43.1%
6 障害児施設(子ども発達センター, 児童発達支援事業所, 放課後等デイサービスなど)で十分な支援を受けられていない	16.2%
7 障害児施設以外に利用できる放課後, 休日などの活動場所が少ない	26.2%
8 余暇活動(外出, スポーツ, 趣味, その他の習いごと・サークル活動など)の機会が少ない	43.1%
(その他)	
9 その他(具体的に: )	16.2%
10 特になし	7.7%
無回答	3.1%

問15 あて名のお子さんについて、医療機関(歯科を含む)の受診で困ることはありますか。

(いくつでも○)

(N=130)

1 かかりつけ医(日常的に健康について相談できる医療機関)がない	6.9%
2 かかりつけ歯科医(歯の健康や治療について相談できる歯科医)がない	10.8%
3 定期的な健康診断を受けられない	3.1%
4 定期的な歯科健診を受けられない	4.6%
5 専門的な治療やリハビリを行う医療機関が身近にない	15.4%
6 障害を理由に診療や健診などを断られたことがある	7.7%
7 通院するときに介助してくれる人がいない	5.4%
8 医療費や交通費の負担が大きい	16.2%
9 医師・歯科医師とコミュニケーションがとりづらい	8.5%
10 その他(具体的に: )	11.5%
11 特になし	40.8%
無回答	6.9%



調布市民福祉ニーズ調査【障害児アンケート(保護者)】

問16 コロナ禍によって、お子さんの暮らしに影響はありましたか。(それぞれ1つに○)

(N=130)

	増えた	変化なし	減った	事柄が該当しない ・わからない	無回答
ア ホームヘルパー(家事や自宅での介護)の利用回数	1.5%	10.0%	4.6%	81.5%	2.3%
イ 障害児施設(児童発達支援, 放課後等デイサービスなど)への通所回数	0.8%	46.2%	27.7%	23.8%	1.5%
ウ ショートステイ(短期入所)の利用回数	0.0%	8.5%	1.5%	86.2%	3.8%
エ 学校や通所以外での外出回数(ガイドヘルパーの利用を含む)	0.8%	26.2%	40.0%	31.5%	1.5%
オ スポーツ・運動などで体を動かす時間	3.8%	39.2%	44.6%	10.8%	1.5%
カ 趣味や好きなことをする時間	16.2%	48.5%	20.8%	12.3%	2.3%
キ 保護者の仕事の日数や収入	2.3%	56.2%	27.7%	13.1%	0.8%
ク 保護者の休息(レスパイト)の機会	3.8%	36.9%	48.5%	9.2%	1.5%

問17 将来,あて名のお子さんに,どのような進学先を希望していますか。(1つに○)

(N=130)

1 中学校まで	0.0%	4 大学まで	38.5%
2 高等学校まで	22.3%	5 その他(具体的に: )	8.5%
3 専門学校・高等専門学校・短期大学まで	13.1%	6 わからない	17.7%
		無回答	0.0%

問18 将来,あて名のお子さんに,どのような働き方を希望していますか。(1つに○)

(N=130)

1 会社やお店などで働く(一般就労)	47.7%	4 わからない	21.5%
2 地域の障害者施設(作業所など)で働く	22.3%	5働くことは困難だと思う	3.8%
		無回答	0.0%
3 その他(具体的に: )	4.6%		

問19 あて名のお子さんが仕事をするために、必要と思うことは何ですか。(いくつでも○)

(N=130)

1 技術, 知識, 資格などの習得	63.1%
2 病気や障害に応じた柔軟な勤務日, 勤務時間の設定	43.8%
3 病気や障害に応じた多様な働き方(在宅ワークなど)	43.8%
4 雇用する会社の施設面でのバリアフリー	11.5%
5 雇用する会社の相談体制や上司や同僚の病気や障害への理解, 協力	66.2%
6 通勤や勤務中の介助や支援	33.1%
7 就職支援や就職後の仕事の悩みなどが相談できる窓口	62.3%
8 職場実習など, 就職前に試しに働く機会の拡大	58.5%
9 その他(具体的に: )	6.2%
10 特になし	3.8%
無回答	1.5%

問20 将来, あて名のお子さんに, どのような生活を希望しますか。(1つに○)

(N=130)

1 親やきょうだい(兄弟・姉妹)などの家族と一緒に生活する	18.5%
2 ひとり暮らし, または本人の配偶者と一緒に生活する	45.4%
3 グループホームで生活する	13.1%
4 入所施設で生活する	0.8%
5 その他(具体的に: )	3.8%
6 わからない	18.5%
無回答	0.0%

### 3 保護者の方に, 相談支援についておたずねします

問21 あなた(保護者)が悩みや困りごとを相談できる人や機関はありますか。(いくつでも○)

(N=130)

1 家族・親族(一緒に住んでいる・離れて住んでいる)	80.0%
2 幼稚園, 保育園, 認定こども園, 学校の先生・職員	50.0%
3 友人・知人	46.9%
4 子ども発達センターの職員	32.3%
5 子ども家庭支援センターすこやか職員の職員	8.5%
6 教育相談所の職員・教育支援コーディネーター・スクールソーシャルワーカー	10.0%
7 サービス等利用計画の作成, モニタリングなどを行う相談支援専門員	12.3%
8 障害児施設(児童発達支援, 放課後等デイサービスなど)の職員, ヘルパー	51.5%
9 市役所・保健センターの職員	9.2%
10 民生委員・児童委員	0.0%
11 医療機関(医師, 看護師, ケースワーカー, 訪問看護)の職員	46.2%
12 その他(具体的に: )	6.9%
13 相談する人がいない	6.2%
14 相談の必要はない	0.8%
無回答	0.0%

調布市民福祉ニーズ調査【障害児アンケート(保護者)】

問22 あなた(保護者)は、介助や支援にあたってどのような不安や困りごとがありますか。

(いくつでも○)

(N=130)

1 障害や病気がよくわからない	12.3%
2 適切な介助・支援の方法がわからない	31.5%
3 自分の時間がもてない(余暇・外出・休養など)	29.2%
4 自分の希望する仕事につくこと・続けることが難しい	35.4%
5 介助・支援をする家族自身の高齢化	26.9%
6 介助・支援をする家族自身も病気や障害がある	13.1%
7 本人のほかにも介助・支援が必要な家族がいる	13.1%
8 本人のきょうだい(兄弟・姉妹)にも本人の介助や支援の負担をかけている	13.1%
9 何かあったときに本人の介助・支援を頼める人(場所)がない	23.8%
10 相談できる場所がない	7.7%
11 障害のある当事者, 家族同士の情報交換, 交流の機会がない	16.2%
12 経済的な負担が大きい	26.2%
13 その他(具体的に: )	11.5%
14 特にない	10.0%
無回答	3.1%

問23 本人の介助・支援に関連し、本人のきょうだい(兄弟・姉妹)についてどのような不安や困りごとがありますか。(いくつでも○)

(N=130)

1 本人のきょうだいはいない	36.2%
2 きょうだいの学校・学業に影響がある	3.8%
3 きょうだいの就労に影響がある	0.8%
4 きょうだいが好きなこと・やりたいことを我慢している	17.7%
5 本人の介助・支援をきょうだいのみに任せなければいけないときがある	7.7%
6 きょうだいの家事の負担が大きい	1.5%
7 保護者がきょうだいに十分に接する時間が取れない	18.5%
8 きょうだいと本人の関係がうまく保てない	18.5%
9 その他(具体的に: )	10.8%
10 特にない	19.2%
無回答	4.6%

問24 保護者への支援として力を入れてほしいことは何ですか。(いくつでも○) (N=130)

1 保護者同士が交流したり, 話し合える場を作ってくれること	22.3%
2 本人の育児や介助・支援から離れる時間を作ってくれること	29.2%
3 家事や育児を手伝ってくれること	19.2%
4 育児や本人の介助・支援の状況に柔軟に対応してくれる職場環境や働き方の普及	53.1%
5 支援制度や福祉サービスなどの情報提供・相談窓口の充実	61.5%
6 その他(具体的に: )	14.6%
無回答	7.7%

## 4 保護者の方に、市民同士の支え合いについておたずねします

問25 近年、さまざまな主体による地域活動が行われています。あなたが参加しやすい活動は何ですか。(いくつでも○) (N=130)

1 同じ地域に住んでいる人達の活動(自治会・地区協議会・老人クラブ・マンション管理組合など)	9.2%
2 同じ趣味・志向をもつ人達の活動(趣味の同好会・教室・子育てサークルなど)	19.2%
3 学校などを基盤にする活動(保護者会・PTA・おやじの会など)	24.6%
4 同じ障害や病気の人達の活動(当事者団体・家族会, 障害者施設や病院でのサークルなど)	43.1%
5 その他(具体的に: )	3.8%
6 わからない, 関心がない	28.5%
無回答	4.6%

問26 あなた(保護者)は、今後、地域活動・ボランティア活動に取り組みたいです。か。(1つに○) (N=130)

1 積極的に、取り組んでいきたい	3.1%	4 取り組みたいが、できない	20.8%
2 できるだけ、取り組んでいきたい	10.0%	5 あまり取り組みたくない	21.5%
3 機会があれば、取り組んでもよい	41.5%	無回答	3.1%

## 5 保護者の方に、災害時の対策についておたずねします

問27 あなた(保護者)は、防災マップや洪水ハザードマップなどで避難場所・避難経路・警戒区域などを確認していますか。(1つに○) (N=130)

1 確認している	84.6%	2 確認していない	13.8%	無回答	1.5%
----------	-------	-----------	-------	-----	------

問28 あなた(保護者)は、災害や火災などの緊急の際、避難情報を主にどこからとりますか。(1つに○) (N=130)

1 防災行政無線	6.2%	5 ケーブルテレビ	1.5%
2 調布市防災・安全情報メール	53.8%	6 SNS※(市の公式アカウントを含む)	19.2%
3 調布 FM	0.0%	7 その他(具体的に: )	1.5%
4 市ホームページ	10.8%	8 わからない	4.6%
		無回答	2.3%

※SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) とは、登録された利用者同士が交流できる、コンピュータやスマートフォンなどを使用したインターネット上のサービス(例:ライン・ツイッター・フェイスブックなど)。

## 6 保護者の方に、誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします

問29 調布のまちは、障害(身体障害, 知的障害, 精神障害, 難病など)のある人にとって、福祉サービス, バリアフリー, 市民意識などを総合的に考え、住みやすいまちであると感じますか。

(1つに○)

(N=130)

1 住みやすいと思う	10.0%	3 どちらかといえば、 住みやすいと思わない	16.2%
2 どちらかといえば、 住みやすいと思う	66.2%	4 住みやすいと思わない 無回答	6.2% 1.5%

問30 市内のバリアフリーについて、どのように感じていますか。(それぞれ1つに○)

(N=130)

	とても充実している	充実している	あまり充実していない	充実していない	わからない	無回答
ア 車いすの人や誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす, 幅を広げるなど)	2.3%	26.2%	26.9%	12.3%	30.8%	1.5%
イ 公共施設や病院などのスロープ, エレベーターやエスカレーター	3.8%	46.9%	17.7%	4.6%	25.4%	1.5%
ウ 車いすの人や乳幼児を連れた人, 介助者の同伴が必要な人など, 誰もが使いやすいトイレ	5.4%	36.2%	26.2%	6.2%	24.6%	1.5%
エ 歩きやすいように障害物(商品や看板, 放置自転車, 電柱など)が取り除かれ, 段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路	3.1%	16.9%	33.8%	23.8%	19.2%	3.1%
オ 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	1.5%	24.6%	17.7%	6.9%	46.9%	2.3%
カ 車いすやベビーカーで乗降しやすい超低床バスやリフト付バス	2.3%	22.3%	17.7%	6.9%	48.5%	2.3%
キ 車いす利用者等用の駐車場	3.8%	19.2%	10.8%	8.5%	53.1%	4.6%
ク 誰もがわかりやすいデザイン(文字の大きさ・種類・色・イラストなど)及び位置における, 多言語を用いた案内表示	2.3%	15.4%	16.2%	11.5%	51.5%	3.1%

調布市民福祉ニーズ調査【障害児アンケート(保護者)】

	とても充実している	充実している	あまり充実していない	充実していない	わからない	無回答
ケ 手話への対応や音声ガイドがある施設	1.5%	4.6%	10.0%	13.1%	67.7%	3.1%
コ 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	1.5%	3.8%	9.2%	14.6%	67.7%	3.1%
サ 公園・道路などを含む, まち全体のユニバーサルデザイン※	2.3%	12.3%	18.5%	20.0%	43.8%	3.1%
シ 高齢者, 子ども連れの家族, 障害や病気などがある人に対する人々の接し方や配慮	2.3%	21.5%	26.2%	16.9%	30.0%	3.1%

※ユニバーサルデザインとは、道路・住宅・製品などを設計・製造する場合に、障害のある人用という区分けをなくし、誰もが使えるものを作るという考え方。

問31 誰もが暮らしやすいまちづくりに向けて、病気・障害・国籍・生活習慣などの違いによる心理的な障壁を取り除く(心のバリアフリー)ために、特に必要な取組は何だと思いませんか。  
(2つまで○) (N=130)

1 学校における, お互いを理解し, 思いやる心を育てるための教育や, 障害者などさまざまな人と触れ合う機会の充実	71.5%
2 意識啓発のための研修・講演会の開催	11.5%
3 障害者や外国人など, さまざまな住民が交流する機会を増やす	27.7%
4 わかりやすい情報発信	46.2%
5 その他(具体的に: )	5.4%
6 わからない	4.6%
無回答	3.1%

調布市民福祉ニーズ調査【障害児アンケート(保護者)】

問32 あなた(保護者)は、お互いにその人らしさを認め合い、ともに生きる社会をめざす法律や取組をご存知ですか。(それぞれ1つに○) (N=130)

	内容を知っている	聞いたことはある (内容は知らない)	知らない	無回答	説明
ア 障害者差別 解消法	33.1%	34.6%	30.8%	1.5%	障害を理由とする差別の解消を推進することを目的とする法律(平成28年4月1日施行)
イ 合理的配慮	37.7%	30.8%	30.0%	1.5%	役所や事業者に対し、障害者から社会の中にあるバリア(生活がしづらくなる社会的障壁)を取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられた時に、負担が重すぎない範囲で対応すること。

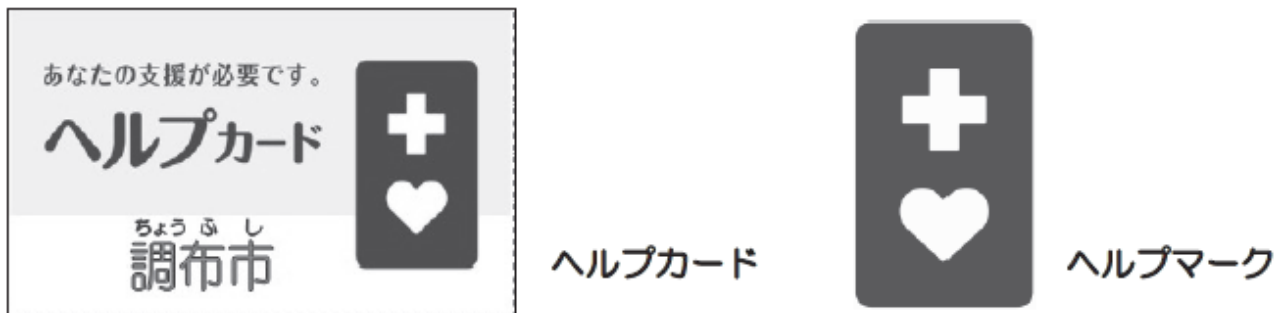
問33 あなた(保護者)は、お子さんが生活する中で、障害や病気への差別や偏見、配慮のなさを感じることはありますか。(いくつでも○) (N=130)

1 教育・保育の機会	50.8%
2 近所付き合い・地域の行事・活動	16.9%
3 民間の習いごと・教室	39.2%
4 店での扱いや店員の対応・態度	10.0%
5 まちなかでの人の視線	34.6%
6 交通機関や建物のつくりの配慮	19.2%
7 行政職員の対応・態度	6.9%
8 その他(具体的に: )	6.9%
9 特に感じない	19.2%
無回答	2.3%

問34 お子さんは、調布市が配布しているヘルプカード※、ヘルプマーク※をもっていますか。  
(それぞれ1つに○) (N=130)

①ヘルプカード	1 もっていて、いつも、もち歩いている	11.5%
	2 もっているが、もち歩いていない	26.2%
	3 もっていないが、ほしいと思う	20.8%
	4 もっていないし、必要ない	38.5%
	無回答	3.1%
②ヘルプマーク	1 もっていて、いつも、もち歩いている	21.5%
	2 もっているが、もち歩いていない	15.4%
	3 もっていないが、ほしいと思う	24.6%
	4 もっていないし、必要ない	36.2%
	無回答	2.3%

※ヘルプカードは、障害のある人が緊急連絡先、医療情報、手伝ってほしい内容などを記載して、普段から身に付けておくことで、緊急時や災害時、日常の困ったときに、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするものです。障害福祉課の窓口で配布しています。これとは別に、障害のある人に限らず、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている人のために「ヘルプマーク」もあります。



問35 お子さんは、ヘルプカードやヘルプマークをもっていることで、周囲の人に配慮してもらったり、手助けをしてもらったりしたことがありますか。(1つに○)

①ヘルプカード (n=15)	1 ある	6.7%
	2 ない	93.3%
	3 もっていない・わからない	0.0%
	無回答	0.0%
②ヘルプマーク (n=28)	1 ある	28.6%
	2 ない	71.4%
	3 もっていない・わからない	0.0%
	無回答	0.0%



## 7 保護者の方に、デジタルの活用についておたずねします

問36 あなた(保護者)は、調布市の保健福祉施策(サービス)に関する情報をどこから入手していますか。(いくつでも○) (N=130)

1 市のホームページ	50.8%	5 家族, 友人・知人からの口コミ	29.2%
2 市の広報紙・チラシ	56.9%	6 SNS	14.6%
3 市役所・相談機関などの窓口	16.2%	7 その他(具体的に: )	5.4%
4 テレビ(ケーブルテレビを含む)・ラジオ	3.1%	8 特になし, 情報は入手していない	7.7%
		無回答	0.8%

問37 お子さんやあなた(保護者)は、市や社会福祉協議会の講座やイベントがオンラインで開催されたら、参加しやすくなりますか。(1つに○) (N=130)

1 参加しやすくなる	49.2%	3 参加しづらくなる	3.1%
2 変わらない	46.9%	無回答	0.8%

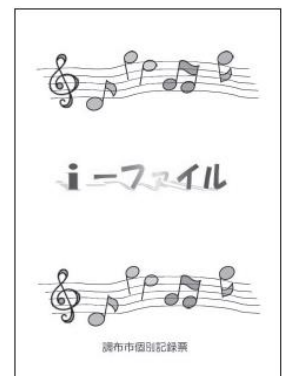
問38 お子さんやあなた(保護者)がスマートフォンなどの情報端末やパソコンなどを使ってほしいこと、暮らしの利便性を高めるアイデアがございましたら、教えてください。(自由記述)

## 8 保護者の方に、調布市の障害者福祉施策についておたずねします

問39 あなた(保護者)は、調布市が個別配布している「i(あい)-ファイル」\*をご存知ですか。(1つに○) (N=130)

1 知っていて, 使っている	52.3%	3 知らない	19.2%
2 知っているが, 使っていない	25.4%	無回答	3.1%

※i(あい)-ファイルは、子どもたちが健やかに成長するために、保護者とさまざまな機関が連携・協力して支援できるよう、子どもの様子や、これまでに受けてきた支援の内容を書き込めるようにしたものです。(配布場所)子ども発達センター, 子ども家庭支援センターすこやか, 健康推進課, 教育相談所, 子ども政策課, 障害福祉課



問40 あなたは次の調布市の相談窓口や制度を知っていますか。(それぞれ1つに○)

(N=130)

	知っている	知らない	無回答	説明
ア 子ども発達センター	93.1%	4.6%	2.3%	お子さんの発達に心配や不安を抱える保護者からの相談に応じ、発達に遅れやかたよりのあるお子さんに専門的支援を行います。
イ 子ども家庭支援センターすこやか	89.2%	8.5%	2.3%	子どもに関する総合相談(子育て・児童虐待)のほか、情報や遊びの場の提供、子どもの一時預かりを行う施設です。
ウ 教育相談所 (調布市教育会館 6階)	77.7%	19.2%	3.1%	お子さんの教育に関する心配ごとについての相談をお受けしています。
エ 教育支援コーディネーター、スクールソーシャルワーカー(調布市教育会館 5階)	40.8%	56.2%	3.1%	教育全般及び福祉的な観点から、家庭や学校に関する相談をお受けしています。
オ 保健センター(健康推進課)(文化会館たづくり西館)	80.0%	16.9%	3.1%	乳幼児の健康診査や成人のがん検診などの健診事業を提供し、保健師・栄養士・歯科衛生士などが育児相談や健康相談に応じています。
カ 障害者虐待防止センター(障害福祉課)	20.8%	76.2%	3.1%	障害者の虐待に関する相談・通報を受ける窓口です。
キ 子ども・若者総合支援事業(ここあ)	26.9%	70.0%	3.1%	家庭の事情などにより、進学や就職をあきらめてしまうことがないよう、子ども・若者に対して学習支援や居場所の提供を行うとともに、進学や自立に向けた相談支援を行います。
ク 成年後見制度	63.1%	33.8%	3.1%	判断能力が不十分であるために意思決定が困難な人の判断能力を、後見人などが補っていくことによって、法的に保護する制度です。

調布市民福祉ニーズ調査【障害児アンケート(保護者)】

問41 調布市の障害児福祉施策(サービス)をより充実していくために、あなた(保護者)が特に重要と考える取組は何ですか。(いくつでも○) (N=130)

1 困ったことや福祉サービスの利用などを気軽に相談できる窓口	61.5%
2 健康づくりや地域での医療サービス	20.0%
3 手当や医療費の助成などの経済的な支援	53.8%
4 成年後見制度など、金銭・財産などの管理の支援	38.5%
5 ホームヘルプなど、在宅生活を支援するサービス	23.8%
6 ガイドヘルパー、コミュニケーション支援など社会参加の支援	26.2%
7 保護者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ	36.2%
8 発達に関する相談や療育の充実	65.4%
9 保育園・幼稚園などにおける受入れの推進	29.2%
10 特別支援教育の充実	53.1%
11 放課後などの活動場所(放課後等デイサービスなど)の整備	48.5%
12 学校卒業後の日中の活動場所(作業所などの障害者施設)の整備	49.2%
13 企業などで働くための支援(就労支援)	43.8%
14 趣味や余暇活動・スポーツ活動などの支援や場所の整備	39.2%
15 グループホームなど地域における住まいの場の整備	35.4%
16 障害理解の促進や差別の解消	37.7%
17 公共施設や道路、交通機関などのバリアフリー	21.5%
18 障害に応じた多様な情報提供の充実	34.6%
19 災害時の支援体制の整備	22.3%
20 その他(具体的に: 無回答	6.2% 3.8%

問42 市民同士がお互いに支え合い、住み慣れたまちで誰もが安心して暮らすまちづくりの取組について、ご意見、ご提案をお聞かせください。(自由記述)

ア 地域活動, 市民同士の支え合い	
イ 相談, サービス	
ウ 安全・安心	
エ 上記以外	

アンケートは以上です。たくさんの質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。

調査結果は市ホームページで公表し、図書館などで閲覧できます(令和5年4月頃の予定)。



刊行物番号

2022—281

## 調布市民福祉二一ズ調査報告書

発行：令和5年3月

編集：調布市 福祉健康部 福祉総務課

〒182-8511 東京都調布市小島町 2-35-1

電話 042-481-7101, 7102 Fax 042-481-7058